

第42回通常総会

開催：平成23年6月8日(水)

会長就任挨拶



日本工作機械販売協会 会長
上 田 良 樹

第42回通常総会におきまして、長久保前会長の後任として、第18代目の日工販会長を拝命いたしました三菱商事テクノスの上田でございます。

ご挨拶に先立ちまして、東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、日工販は昨年創立40周年という大きな節目を迎えましたが、日本のものづくりとともに歩んできた長い歴史と実績を有しており、その会長職という大役を拝命いたしまして身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、協会の発展、ひいては日本のものづくりに貢献できますよう全力を尽くして参る所存でございますので、長久保前会長同様、引き続きご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

100年に一度といわれたリーマン・ショック後の世界同時不況が昨年漸く収束し、回復基調に乗り出した矢先、この3月に今度は1,000年に一度という大地震が発生、これに巨大津波と原発災害が重なり、被災地の皆様はもちろんのこと、日本全体が非常に厳しい情勢下におかれております。一方で、我々を取り巻く四囲の環境はどうかというと、中国、インド等の新興国、アジア地域を中心に依然旺盛な設備需要が続いております。日工会殿の発表によれば、1月以降継続して1,000億円超の受注が続いており、

4月末時点において年初に立てられた受注高予想の4割をすでに達成、年初の予想を超えて受注高が伸長される見通しです。その7割が外需であり、今後とも拡大していくものと思われます。日本のものづくりの立ち位置が大きく変わってきており、好むと好まざるにかかわらず、グローバル市場を視野に入れた対応、展開をしていかねばならない状況にあります。

しかし、悲観することはないと思います。ものづくりの世界において日本は課題先進国であります。過去数多くの技術課題、生産課題を世界の先頭に立って果敢に解決し、牽引してきた実績があります。日本全体が大きな連合艦隊となって総力を発揮していけば、このポジションは今後とも変わらない、それどころか益々進化していけるものと信じております。この進化によって、日本国内外において新しい価値が創造され、新しい市場が形成されていくものと信じています。

先日東北に行って参りました。テレビを通して見ているのとは全く違い、被害に見舞われた悲惨な光景が依然多くの箇所で見受けられました。しかし、その一方で、ものづくりの現場が力強く再生されつつある姿も拝見しました。間違いなく日本の産業は未曾有の危機に面しておりますが、過去何度もそうであったように、不屈の精神と闘志によって必ず蘇る、そして単に蘇るだけではなく、更なる飛躍を実現する、そういった印象を持って帰って参りました。

大変苦しい状況にありますが、ある意味で、これは日本のものづくり、そして、そのものづくりに関わる我々が進化するために与えられた試練であり、大きな転機ではないかと考えます。日工販といたしましても、会員の皆様から多方面に亘る叡智を頂戴し、それを結集して、そして、日工会殿とも連携を密にし、製販一体となってこの難局を乗り越え、日本のものづくりの復興、進化を支えて参りたいと思います。全員一丸となって、明るい将来を見据えて頑張って参ろうではありませんか。引き続き関係各位の皆様のご支援、ご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

最後となりますが、会員各社の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

議事録

日 時：平成23年6月8日(水)
 13:00 ~ 13:45
 場 所：八重洲富士屋ホテル



[議 事]

1. 開会 (13:00)

宇佐美専務理事が進行係となり、別紙「総会次第」に従い議事を進めた。

2. 総会の成立

専務理事より「本日の出席社45社(52名)です。うち議決権行使者は43名、有効な委任状提出18社、合計61社であり、現在の在籍正会員数は69社につきこの総会は定款の定めにより成立する。」旨報告した。

3. 会長の挨拶

長久保会長より、「会員各位のご協力をいただき只今から上程議案の審議をお願いいたします。」との開会の挨拶があった。

4. 議案の審議

定款第14条に従い長久保会長が議長に就き、第1号議案から第3号議案まで審議の結果、それぞれ次の通り承認された。

(1) 第1号議案

平成22年度事業報告並びに決算案承認の件
 会長が事業報告書の「概要」を述べられた。

専務理事が「決算報告書」を説明した。

議案の審議に先立ち議長は監事に対し監査結果の報告を求めた。

監事を代表して三橋監事から「平成22年度の収支計算書、貸借対照表、諸帳簿、証憑を監査した結果、適正であることを認める」旨報告があった。

議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。



(2) 第2号議案

平成23年度事業計画案並びに予算案承認の件
議長が事業計画案を提示、専務理事から予算案について説明した。

事業計画では基本方針に基づき、平成22年度事業の概要を引き継ぐとともに、各行事の継続実施と充実を図る。

一般会計予算は、厳しい経済不況下における対応として昨年2月の郵便による持ち回り臨時総会の際、23年度会費徴収額半額については本年1月理事会決定に一任とすることが承認されており、理事会は徴収額半額継続を承認。本年度も会費収入減のため収支差額は大幅マイナスとなる。教育事業特別会計は受講者は基礎講座・更新研修を微増の見込みとし、収支差額はプラスとなる。従って収支合計は前年比マイナスが減少。議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

(3) 第3号議案 会長・副会長承認の件

議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

以上で議案審議は終了し、議案は全て承認された。

5. 議長挨拶

議長は、以上をもって全議案の審議が終了したことを告げるとともに、出席者の協力に対し謝辞を述べた。(13:40)

6. 新旧会長挨拶

(1) 長久保前会長退任の挨拶

議案審議後、長久保前会長より、1年間の在任期間における会員各位のご支援とご協力に対して謝辞が述べられた。



(2) 上田新会長就任の挨拶

引き続き上田新会長より、会員各位のご支援を受け、協会の方々の発展に尽力する旨挨拶された。



7. 閉会

宇佐美専務理事より、閉会を宣し通常総会を終了した。(13:45)



記念講演

平成23年6月8日(水)14:00~15:30

『脳が若返る方法』

講師：米山公啓 氏 医師・作家

第42回通常総会に引き続き記念講演会が14:00より約1時間30分にわたり106名の参加者を迎え開催されました。

富田総務委員長から講師が紹介され、現役医師で作家としても250冊以上の著作があり、講演活動面でも活躍されている米山公啓氏より誰もが関心の高い脳について興味深い内容を大変分かりやすく講演されました。

当日、米山講師の講演を聞けなかった会員の皆様に講演要旨をここに紹介致します。



始めに

脳の話と言いますと難しい話かと思われるかもしれませんが、私の話はそういうことではなくて、今日からでも出来るいろいろな話をしていきたいと思います。

65歳以上の認知症になる可能性

先ほど司会の方からモノ忘れの話がでましたが、その先には認知症という問題があります。

私の専門は神経内科で、分かり難いと思いますが、特に血管が詰まってしまう脳梗塞を専門としています。脳梗塞によって認知症にもなりますので研究と診療をしてきました。65歳以上の六分の一から六分の二が認知症と

なってしまうのですが、この会場の丁度一列が認知症となる感じです。

認知症について

認知症の現状を言いますと、治療薬としては現在一種類だけ使えます。今年になりあと三剤認可される予定ですが、既に海外では10年以上前から使われている薬ですから、効き具合としては現在使用されている薬とはそれほど大きな差はありません。本当に効く薬、即ち記憶力の低下を止めるとか認知症をそれ以上進ませないようにする薬は10年以内に出てくる可能性が非常に高いのが現状です。だからあと10年認知症にならなければ大丈夫ということ。神経、細胞が無くなってしまおうと再生しかないので、再生医療はもう少し先になると思います。20年前では認知症に対してまったく治療法もない、希望もない状況でしたから大分状況が変わったと言えます。認知症は介護が非常に大変で、私自身も10年前に母親が認知症で亡くなっており、また父親の介護もやりました。東京都の西の果てあきる野市という所で開院しており、認知症で在宅医療のため10年間往診している患者さんがおります。認知症かどうかの簡単なテストですが、三日前のお昼は何を食べたか、皆さんは覚えていますか？

多分多くの方が思い出せないと思いますが、それでは今日の朝何を食べたか？これは大事です。もし今日の朝何を食べたか思い出せない方は、これからの話を聞いても無駄です。発病しており緊急に医者に行った方が良くと思います。

記憶とモノ忘れ

記憶とは段々薄れて行くのが基本設計です。つまり人間の脳は忘れるのが本当の一つの役目です。記憶力が良いという事が人間にとってメリットであるとすれば進化の過程でもう少し記憶力の良い人間だけが生き残ってきたはずですが、そうではありません。大きな意味で忘れられる方が生きていくという意味で便利なこともあり、記憶というものはなかなか思うようにいきません。年をとってくるとモノ忘れが多くなっていくことは実際に経験していますし、私自身もさんざん使ってきた薬の名前が突然出てこないこともあります。これは年齢的な変化で避けられません。

認知症のモノ忘れと年齢からくるモノ忘れとどういう差があるかということ、世界的にも研究していますが、初期の症状はよく分からないのが現状です。

従ってモノ忘れという段階では既に遅いかもしれません。ただモノ忘れだけでは認知症とは言いません。これが出たら認知症というのはいわゆる見当識障害といって時間と場所の関係が分からなくなる場合、つまり自分が今何処に居るか分からない。具体的には夕方になり自分の家に居るのに「そろそろおいとまします」と出て行ってしまふ。そこまで行けば確実に認知症です。治療できないという非常に厄介な病気ですし、いろいろなケースが出てきましたが、とにかく今は予防しかありません。

10年前は、認知症予防などは出来ないと考えられていましたが、いろいろな調査・研究が進んでくるといくつか今から出来るような予

防あるいは脳を活性化することが認知症の予防につながるということが分かってきており、そのことを今日お話ししたいと思います。

脳が最も能力を発揮する時

記憶力が落ちると言っても、円周率記憶の世界記録を持っている原口さんという方がいますが、3.1415...を今10万桁憶えて居られ、年齢が60歳を超えていますが、世界記録を出した時は57歳でした。ラジオで一度対談しましたが、ものすごく記憶力がいい人と思うかも知れませんが実に普通の人で、本人は記憶力は良くないと言っており、名前も顔も忘れるけれども円周率だけはなぜか覚えらるという不思議な方です。

記憶方法は数字を平仮名に置き換えて日本を一周する話を作って記憶するそうです。一日200ほど覚えていってストーリーをつかって10万桁覚えていくそうです。話を聞きますと37歳のころお風呂で円周率を口ずさんだら気持が良かったそうで、そこがすでに病気です。つまり人間の脳というものは自分が好きなことをやる時最も能力を発揮できます。これが基本です。たまたま円周率に非常にこだわりを持っていることに気がつき、彼によると円周率には宇宙の謎が書かれていてそれを読み取るというような事を言っていました。ちょっとわけの分からないことですが、覚えるということは年齢に関係なく10万桁、文庫本一冊に相当する数字を全部覚えているということが出来てしまう。人間の脳は年齢とともに衰えるのですが、使ったりしたいことをすると変わるのだということです。

神経細胞について

神経細胞がどんどん減るということが大前提だったのですが、一日2万から10万実際に減っているわけです。ところが頭を使うことによって一部増えてくることが分かってきたのが20世紀最後の頃で、21世紀になってから神経細胞は一部再生する、新しく作られるというのが常識になっています。頭を使えば使うほど神経細胞が増えてくるというのが今の考え方です。年齢とともに機能は一部落ちますが、筋肉と全く同じで使わなければどんどん衰えて行くし使い続けられずと機能して行くというのが脳の原則です。今日は社長さんが多いのですが、多分一番いいボケない方法は、社長を辞めないことです。社員から何と言われようとずっと社長でいる。現役で仕事を続けるのが最大のボケ予防です。なぜかと言いますといろいろな調査で分かってきたことですが、認知症も環境に左右される生活習慣病であるというのが今の考えで、食事だとか、運動だとか、いろいろな生活習慣が非常に影響します。神経細胞を増やすということと、もう一つはネットワークを増やす、つまり脇道を増やすようなことですが、その方がボケにくいというのが一般論です。神経細胞は一つの細胞が何千何万というアンテナみたいなものを出して、そのアンテナが複雑に絡みついて一つの記憶になったり経験になったりするのです。

長生き遺伝子

長生きということを考えますと、最近では遺伝

的要素があるという考え方です。今確実に長生きする方法の一つの例としては、ショウジョウバエという蠅を冷蔵庫にしまっておきますと9倍長生きします。つまり人間ですと900歳まで生きるわけです。その代りずっと冷蔵庫の中に居なければいけない。これは実験的には正しいですが実際は使えません。もう一つは食べる量を減らすということです。食べる量を減らすと長生きできるというのは経験的に分かっていました。基準食の6割位、一日1,000キロカロリー位に落とすと寿命が1.3倍伸びます。つまり80歳であれば100歳となり、これは経験で分かっていました。ただなぜそうなのか良く分かっていませんでしたが、どうも食べ物を減らすことにより長生き遺伝子にスイッチが入るらしいことが分かってきました。長生き遺伝子は誰でも持っている遺伝子なのですが食べるのを減らすというひとつのストレス、食べられないというストレスがかかるとどうもそこでスイッチが入って長生き遺伝子が作動して長生きすることになります。考え方ですが、食べ物が無いという危機的状況になってくると、そこを生き延びなければいけないということで長生き遺伝子にスイッチが入って老化のスピードを遅らせるので、結果的に長生きすることになります。実はこの発見は第二次世界大戦の時にイギリスがドイツから空爆をうけて非常に悲惨な状況になっている時に意外に寿命が短くならなかったということが発見のきっかけでした。つまり危機的に食料が手に入らないという状況で逆に寿命が延びたというのが研究の発端でした。ストレスをかけることによりそれに打ち勝とうとする体の反応

で長生き遺伝子のスイッチが入って寿命が1.3倍伸びるということです。長生き遺伝子のスイッチが入っていて有名な方は聖路加国際病院理事長の日野原先生で今年100歳の誕生日を迎えるそうです。日野原先生は食べる量は非常に少ないそうでビスケットとジュースといった内容だそうです。長生き遺伝子のスイッチを入れる方法と実は脳を活性化させることと同じです。食べる量を減らすと長生きしますし、そしてボケにくくなります。6割食を食べさせ続けた猿はずっとイライラしていますが、一方好きなだけ食べさせた猿はニコニコして死んでいったという有名な実験がありました。人間の欲望としては好きなだけ食べて長生きしたいというのが基本ですから長生き遺伝子のスイッチをいれる別な方法を考えねばなりません。有名なものは赤ワインのポリフェノールですね。これは長生き遺伝子のスイッチを入れますが、一日の必要量はワインで600本となります。物質として凝縮すればと思いますので将来は長生き遺伝子のスイッチを入れる薬として出てくる可能性が非常に高いと思います。長生き遺伝子のスイッチには大前提があって80歳までに生活習慣病にかかっていないこと、つまり高血圧、高脂血症、糖尿病等そういった病気をすっかり治療しておかないと効果がありません。

認知症になりやすい性格

性格の面から認知症になりやすい人は、統計から感情的、我儘、頑固、閉鎖的というタイプです。つまり友達の居ない人です。なぜそれが良くないかということ人間の脳はストレス

に非常に弱いのです。心配だとか不安があると実際に神経細胞が壊れることがあります。アメリカがベトナム戦争をしている時、帰還兵が記憶障害を起こすのですが、調べてみると期間が長ければ長いほど記憶に関係する脳の海馬の細胞が減ることが分かりました。この発見が今回の大震災後にも言われていますが心的外傷後ストレス障害、PTSDです。人間の脳はストレスに対して非常に弱くて壊されてしまいます。従ってストレスを早く回避しなければならぬということになります。ストレス回避が一番手っとり早いのは人に話すということです。愚痴をこぼすということは無意識にやっていることですが、友達だとか人間のつながりを持っていないと認知症になりやすいわけです。だから社会と繋がっているということはとても重要なことです。それから几帳面な人はボケやすい。これは逆に言いますといい加減な奴はボケても分からない。机の上をいつもきちんとしている人がある日突然机の上がぐちゃぐちゃとなったら周りがボケが始まったと気がつきます。

早期発見

早期発見はなかなか難しいものですが、夫婦で来る場合は必ずボケています。奥さんが、ご主人がおかしいと連れて来るわけですが、診察室に入ってご主人が椅子に座ってどうですかと聞くと本人はニコニコして何ともないですと言っていますが、奥さんは後ろで手を振っており、そこで診断が出来るわけです。一人で診察に来られるケースは少ないのですが、一人で来られた方を診断してみると発症

している方が結構います。だから社会生活を一人で出来ないというのを認知症と定義とする仕方もありますが、記憶力が無くても計算が出来なくても生活が出来てしまいますから結構発見が遅れてしまうことがあります。早期発見することにどのような重要なことがあるかということ、アジセプトという薬を飲むと進行がかなり遅れます。だから寿命は延びますし、認知症がゆっくりと進行します。早くこの薬を飲むことが今出来る唯一の治療方法ですので、早期発見がとても重要となってきます。

アルツハイマー病

認知症の中の7割位がアルツハイマー病です。この病気の仕組みは大分分かってきましたが、原因はまだよく分かりません。残り3割が脳梗塞で血が詰まって脳の一部が機能しなくなります。実際はどちらも重なっている認知症の方もいますので7割、3割ときちっと分けられません。遺伝性のアルツハイマー病は非常に特殊な病気です。これは例外的です。一般的なアルツハイマー病というのは突然発症するものですが、ただある家庭で一人がボケると全くボケた人が居ない家庭に比べてもう一人ボケる確率が3.5倍位です。つまり遺伝というより社会環境、生活環境が大きいのではないかというのが一般論です。全く遺伝子が同じ一卵性双生児の一人がボケると、もう一人がボケる確率が50%です。遺伝子が全く同じでもそのレベルですから、やはり環境が与える影響が大きいと考えた方がいいです。

頭を大事に

頭をぶつけるとボケやすい。頭をぶつけることはいろいろレベルがありますが、過去10年以内に交通事故により意識障害を起こして病院に運ばれたというケースはボケやすい。パンチドランカーと言ってボクサーが認知症と同じような症状がでることがありますが、常に脳に衝撃を与えますと衝撃に対して脳が反応して補修しようとして、その時過剰な反応が起きて認知症と同じような病気を起こしてしまいます。モハメドアリはパンチドランカーの症状です。

医学統計

今日、統計的なお話をしていますが、医学統計というものには判断が非常に難しく、7段階位のレベルがあり一番信用度が高いのはレベル1で一番怪しいのがレベル7となっています。

一番信用できるのは大規模調査で5万人とか何万人を5年、10年と追跡調査を行った結果、Aという薬はボケにくかったという証明が出来れば一番信用が出来ます。一番信用できないのはテレビに出ている医者の方の言うことで、その医者の個人的、体験的統計です。有名なのは「おもいっきりテレビ」でココアを飲むと糖尿病が治るというのがありましたが、大橋巨泉がそれを信じてココアを飲み続け糖尿病になってしまいました。レベルが低い話は信じてはいけません。その事件があって以来テレビ局も慎重になり一応論文を調べています。余談ですが、今テレビに出ている女医の西川史子は私の生徒でしたが、あの時代はなぜか美人が多かったのですが、彼女のすごいところは医師国家試験の1週間前にミス日本コンテストに出場しました。私の時代は医師国家試験に落ちたら死んでしまうと思いつめるほど悲壮感が漂っていましたが、時代が変わりました。



ボケ予防

運動している人にボケが少ないというのは世界的に調査が進んでいますがかなり信用度が高いです。逆にボケたくなければ運動をなささいということです。ただ運動と言ってもいろいろなレベルがありますが、それほど大変なことではありません。適度な運動というのがポイントです。私の外来で来ている88歳の患者さんが朝9時に来て万歩計が既に3万歩で午前4時から歩いていて足が痛いと訴えていますが、処方箋は歩くということです。

適度な運動とは1日30～40分のウォーキングを週3～4回で結構です。全く運動しない人に比べてボケる率が半分になります。それではなぜ歩くと良いのかということですが、歩くことによって脳に行く血流が増えます。脳血流が増えれば酸素とか唯一のエネルギーであるブドウ糖が脳に行くことになり、神経細胞が非常に元気になります。神経細胞を刺激する神経栄養因子という物質がでてきます。これは脳のネットワークを広げる時にアンテナを繋げやすくします。

このウォーキング1日30～40分は連続して歩かなくても良く10分刻みでもよく、例えば家から駅まで歩いて10分で、後の20分をどこかで歩けば良いのです。ですから生活の中で歩く距離を延ばすという方法が一番現実的となります。私の知り合いの編集者は1年間毎日違う所で昼食をとったそうで、段々食べる所が会社から遠ざかるわけですが、結構いい運動になったそうでこういう方法もあります。極論を言いますと立っているだけでもいいということで、2時間ほど立っていると消費

カロリーとしてはごはん1杯分位350キロカロリー位減ります。私が自分の父親を介護している時とにかくトイレまで歩いてもらいました。介護をやってみると分かりますがトイレまで歩けるかどうかは介護の全てで、ポータブルトイレを部屋に入れてしまうとイメージも悪いし臭いもありますし介護の絶望感が溢れてしまいます。だからトイレまで歩かせるということがものすごく重要です、本人のプライドも保つことになります。人間は立っている、歩くということが当たり前ですがこれがものすごく重要です。そういう動作をしていた方がボケにくいのです。地方に行きませんと家から目的地まで車で移動し歩かないのですが、むしろ東京の方が地下鉄の乗り継ぎで歩くことが多いですが、リタイアしても歩く楽しみを作っておかなければいけません。それからお酒の話です。お酒は飲める人が適量であればボケ予防あるいは健康につながります。適量とはどれだけかと言いますと、日本酒1合、ウイスキー水割り1杯、ビール中瓶1本、ワイングラス2杯、焼酎0.65合のいずれかです。だからお酒を飲める人は適量で済むかという問題があります。

Jカーブと言って飲む量が増えるほどリスクが増えて行き食道癌、脳卒中、心筋梗塞、ボケなどのリスクを背負います。なぜJカーブかというと一番低いところが適量です。嗜好品のコントロールはなかなか難しいものです。

血圧について

血圧と問題ですが、血圧が高ければ血管が固くなって詰まって脳卒中になるというのは分

かりますが、それとは別に血圧が高いだけでもアルツハイマー病になりやすいというのが今の考え方です。だから血圧を下げましょうということです。どこまで下げるかということですが出来るだけ下げてもらいたい。出来ればゼロにしてもらいたいものですが、血圧の薬を飲む方の半分が実は下がっていません。高血圧の基準が昨年かわりまして上が130、下が80まで下げなさいということです。これは海外の調査の結果、血圧が低い方が体に有利ということが分かってきて、長生きする人は血圧が低いということもあります。薬を飲んで上が130、下が80まで下げられた人は非常に少なく、薬を飲んでいるから安心ではなくてもう一度見直して上が145で下が90の方が非常に多いのですが、薬をもう1種類飲むか、あるいは量を増やすかといことになるかもしれません。

医者の前に来ると血圧が上がる人がいますが、家で測ると120で医者にくると190という人がいます。そういう人は医者に行かなければ良いわけです。昔は医者で血圧を測って高かったらすぐ薬をだしますが、今は家で測った血圧を参考にします。

コレステロール

メタボの特定検診では総コレステロールは調べなくなりました。これはいろいろ問題があるのですが今は悪玉コレステロール(LDLコレステロール)を基準にしています。160を超えれば治療になります。コレステロールは体質的な問題ですが、肝臓でコレステロールをうまく壊せないために数値が高い人がいます。

これは運動だとか食事だけではなかなか下がらないので薬を飲んだ方が手っ取り早いと思います。私は大学に勤めていた時は健康管理部という所に居たのですが、人間ドックの方が多いのでコレステロールが高い人に対してただ単に薬を飲みなさいと言った人と30分以上高脂血症を下げる理由を説明しているいろいろな事を行った人との1年後のコレステロール値を測ったら、あまり差がないことが分かりました。つまり薬を飲ませるといことの方が断然重要ということです。リスクを減らすということであれば高血圧も高脂血症も薬を飲んでから同時に生活環境を変えて行けばよいと思います。厚生労働省が指導している特定検診でも半年位は高脂血症の食事療法を指導しなさいと言っており、その方が医療費が安く済むとのことで特定検診を始めたわけですが、その特定検診に参加する人はほとんどいないのが実情です。世界の医療経済学から言えば医療費を抑制することはほとんど不可能で、医療費は必ず上がります。なぜ上がるかと言うとこれは人間の欲望からです。MRIとかPETなど新しい医療検査・機械が出てくればそれを受診してみたいと思うのが人間であってそれをすると医療費が上がって行きます。ということでなかなか医療費を下げるのは難しいわけです。

禁煙

タバコですが、これは禁煙しかありません。認知症のリスクはもちろんですし全ての癌の危険があります。今日の話聞いて一人でも禁煙して頂ければ私は来た甲斐があったとい

うことです。禁煙指導を10年以上前からやっております。今は薬局で買えますがニコチンガムは処方箋が無いと買えない時代がありました。禁煙指導というのは自由診療ですから保険診療と違って事務手続きが面倒臭いということで反対されましたが敢えてやり、全国から禁煙したい人が沢山集まりました。最近館ひろしがCMに出ているチャンピックスという薬がありますが、これは従来のニコチン製剤より成功率も高くずっと楽です。あの薬を飲んでいるとタバコを吸っても気持ちが良くなってしまい何となく止めてしまうことになります。ヘビースモーカーでも結構早く止めてしまいます。なぜ禁煙指導が進まないかと言いますと禁煙指導しても儲からないからです。全くやめる気が無い人に1時間説得して初診料600円という仕事をする人はいないのです。全く禁煙をする気が無い人に癌になるとか早く死ぬとかいろいろ脅かしても無駄で、とにかく一緒にやってみましょうとチャンピックスを飲ませたりするのですが、不思議なことですが今日禁煙しなさいと言うと1割の人がタバコを止められるのです。

経済状態と認知症の関係

株価が下がるとボケやすくなる。何のことかと思われませんが、これは私が発見しました。リーマン・ショック前の株価が上がっていた頃は認知症の発症が治まっていました。つまり経済状態が良くなると認知症は減るということです。これはどういうことかと言うと、やはりお金が入って豊かになると健康診断を受ける、健康に気を遣う、そして禁煙率が増

えてきます。それが認知症を減らすことになるということです。何度も言っておりますように認知症は生活習慣病であり生活習慣が大きく左右するという証明です。

認知症に強い脳

ボケに強い脳があるのかについては、従来は統計がなかったのですが、最近分ったことは高学歴の人はボケにくいです。高学歴というのは別にいい大学を出ているということではありません。四年制の大学を出た人よりも大学院を出たの方がボケにくい。つまり教育期間が長いほどボケにくいわけです。それはどういう事かと言うと頭の中に沢山ネットワークをつくっておく、いろいろな教育を受けているいろいろな知識を持つということで、生涯ずっと勉強をし続けるという姿勢の方が認知症になりにくいという事が考えられます。実際にバイリンガルという二カ国語が話せる人は認知症発症が4年位遅れると言われています。日本語と英語の言語中枢の場所が少し違いますので脳を広く使っておりそれだけでもボケにくいようになるわけです。更に両手足が長ければ長いほどボケにくい、手足が伸びるという時は子供の時に非常に脳が成長したということで、子供の時に脳が十分成長しているとボケにくくなります。

痛み止め効果

リウマチの患者さんにはボケが非常に少ない。これは理由を調べてみますと、関節が痛いからです痛み止めを飲みますが、どうも痛

み止めにはボケ予防の効果があるのではないかと経験的に分かっていたのですが、痛み止めと言ってもパファリンは駄目です。頭が痛い時医者が処方するロキソニンとかポンターレ等がそうです。ロキソニンは今薬局で買えますが、では今からロキソニンを飲むといても2ヵ月くらい経ちますと胃潰瘍になっています。つまり痛み止はどうしても副作用がでてしまいますのでボケの予防には使えません。経験的には痛み止を使っていることが長期的に考えるとボケ予防につながるだろうというのが一般論です。慢性的に頭痛を持っている人は痛み止を時々服用していることが結果的には認知症予防につながるということになるかも知れません。

食べ物と認知症

食べ物については、他の統計に比べ非常に難しいのですが、海外の調査で分かっている結論としては緑黄色野菜を食べる習慣を持っている人にはボケが少なく、野菜ジュースでもよく、果物ジュースでもよいということが分かっています。野菜嫌いであれば意識的に果物ジュースを飲むとか、それも毎日でなくても結構で週3～4回で結構です。これは常識的に考えて抗酸化作用です。人間の体は酸素を取り込むと過酸化物質という毒をつくりまします。その毒が細胞や遺伝子を壊しますが、これが老化にもつながってきます。これを予防するための抗酸化物質、ビタミンCとEという物質が含まれているものを野菜として摂るといいと言われています。サプリメントでいいのではないかという話になりますが、統計的

になぜか理由が分かりませんがサプリメントではボケ予防になっていませんので、やはり野菜を食べなければなりません。カレーの話があります。アメリカの統計でインド人にはボケが少ないというところからきています。調査をしてみてやはりインド人では三分の一位に少ないということが分かり、インド人と言えばカレーとなりますが、カレーの中の黄色いターメリック、日本ではウコンでその中のクルクリンという物質をネズミに与えた実験によると認知症発病が遅れた或いは抑えられたという結果がでておりボケ予防になることが分かりました。

F1レーサー

少し前までは脳トレーニングが流行りました。BSテレビ朝日では半年間レギュラーで出演し芸能人の脳年齢を出すという番組をやっていました。片山右京というF1ドライバーが出演しましたが、最初はとても成績が悪かったのですが、間違い探しになった途端異常に正解率が高くなり、1秒以内に正解を出すわけで映像的处理がものすごいということに気がつきました。終わった後で話を聞きますと、もうひとつ理由があって全然緊張しないそうです。F1レーサーは300キロスピードを出さなければドキドキしない人たちですからテレビに出ても全然ドキドキしないわけです。彼は登山家になったのですが、登山してここで手を離すと死んでしまうという状況にならないとドキドキしないそうです。そのくらいレベルが違うわけです。これは脳の中のセロトニンという物質が影響しています。非

常に周りには迷惑な人ですが、危険を追求する方がストレス解消になるわけです。レーザーとか冒険家は皆そうです。

睡眠と記憶

日常生活の中で、ボケ予防ができることですが、ウォーキングは勿論非常に有効であり、なおかつ実現可能な話ですが、次に睡眠についてお話ししましょう。最近分かってきたことですが、睡眠と記憶の関係です。眠ることによって記憶が定着します。つまり睡眠と言うフィルターがないと前日の記憶が忘れない記憶として変化していかないことになります。特に認知症初期の患者さんは不眠を訴えており、それも脳の関係であろうとされています。いろいろな実験がありますが、バスケットボールのフリースローで、二つのグループに分けて、一つのグループは1日だけ練習させた後は寝かせました。もう一方のグループは毎日練習させて、あまり睡眠を取らせません。4日目に比較しますと1日だけ練習してよく寝たグループの方が成績が良かった。眠ることによって最も良い運動プログラムが記憶に残っている。試験がある時、徹夜して行くのか、ある程度勉強して寝てしまうのかですが、例えば100のことを覚えたとしても、徹夜で試験会場に行くと40まで記憶が減ってしまいます。なぜ減るかと言うと外からの情報が入ってきてしまうためどんどん記憶が薄れていってしまいますが、寝た方は60になっていると研究報告があります。だから眠ると言うことは記憶の定着に関係していると今言われているこ

とです。ただ睡眠というものはなかなか難しい問題で、今ここでアンケート調査をすれば9割が不眠症あるいは十分寝ていないという結果になると思います。ところが人間はそれほど規則的に寝ているわけではありません。ショートスリーパー、ロングスリーパーという言葉があります。1日3時間以内の睡眠でいいという人がいますが1割位、知っている限りではショートスリーパーでは漫画家の藤子不二雄Aさんで、9時間以上眠る人がロングスリーパーですがアインシュタインがそう言われていますが、実際には睡眠時間をうまく組み合わせるのが睡眠の使い方、毎日きちんと7時間眠るなどは多分不可能です。もう一つ睡眠負債という考え方があります。睡眠の借金ですね。例えばその人の理想的な睡眠時間を7時間だとします。今日6時間しか眠れなかった場合1時間借金です。翌日6時間としますと2時間借金となります。この借金を2週間以内に返せばいいのです。つまり土、日に2時間プラスして眠ればよいという考え方です。なぜ2週間以内かと言うと睡眠の研究を2週間しかしていないからです。なぜ2週間しかしていないかと言うと睡眠研究は大変で医者は眠れません。

睡眠とは4段階あって睡眠が一番深くなり戻ってきて90分で1サイクルとなっていますが、歳をとるにつれて3段階目まで戻ってきてしまいます。睡眠と言うと睡眠薬の話がありますが、睡眠薬を飲むとボケるから飲みたくないという人がいますが、そのような例はどこにもなく基本的には睡眠薬を飲んで眠れるのなら眠ってしまった方がいいのです。最近の睡眠薬は3時間で効果が切れてしまいますので朝

まで残ることはまずありません。一番まずいのは出来るだけ薬は飲まないようにして下さいと言って患者さんに薬を渡すと患者さんは飲もうか飲まないかずっと迷って午前5時ごろ飲む人がいますが、この場合午前中ずっとボーっとしてしまいます。

眠るとウォーキングと同じことが起きて、血流が増えます。眠っている時は内臓に血液は必要がないので頭に集まります。神経成長因子も眠っている間に分泌されます。そのため脳が非常に活性化されてきます。眠っている間に脳を休ませると思うかもしれませんが、実は非常に活性化している状態です。昼寝もいいのですが1時間以上昼寝するとボケやすくなります。30分程度の睡眠がいいと思います。ある企業で昼寝を取り入れて営業成績が上がったという事例がありますが、昼寝と言うのは意外に人間には重要なんだというのが今の考え方です。

前向き思考

ストレス自体は脳を壊すことが分かっていますが、認知症になりにくい一つの条件としては楽観的な人、前向きな人です。100歳以上超えた方も前向きです。私の患者さんですが、ご夫婦で来られご主人が脳卒中で10年間奥さんがずっと面倒をみていてご主人が亡くなり奥さんが翌日外来に来られ、今日が一番幸せですと言ったんですね。これは厭味でも何でもなく本当に一生懸命看護をしてきて解放されたということですね。そして一人住まいになるわけですね。これが逆ですと男はストレスに対して非常に弱いのですが亡くなっ

てしまう人が多いのです。その奥さんはそれから5年経っていますが、とても元気で時々外来に来られますが、毎日暇で何をやってますかと聞きましたら、暇ではないそうで89歳ですがペン習字の3級を取ったそうで、先生も何か生き甲斐をみつけなければ駄目だと言われてしまいました。その位前向きで明るいというのが、長生き遺伝子のスイッチが入ると同時に何か目的を持っている。会社人間であるうちはいいのですが、それが全て切れてしまって、何を目的で生きて行けばいいのかが大きな問題です。趣味に生きろと言われてもそこまで出来るのか難しいのですが、前向き性格は神経細胞そのものに保護的に働くのです。前向きに考えると神経細胞が増えることが分かっています。一方否定的なことを考えると神経細胞が壊されるということも分かっています。自分が置かれた状況に対してどうやって考え方を換えられるかということにあります。

これは前頭前野と呼ばれる頭の一番前に出来る非常に高度な脳の機能で、発想の転換が出来るのが前頭前野です。同じ状況でも考え方を換えられるのが人間の脳のすごいところですが、前向き思考はいろいろな意味でプラスとなりますが、健康脳でもボケにくい脳でもそうです。

脳の活性化

脳をずっと活性化していくという意味では新しい体験が必要です。新しい体験と言われても漠然としていますが、1週間を考えてみますとそれほど新しいことはやっていません。人

間はどうしてもパターン化された行動をとります。家から駅まで歩くのは同じ道しか歩かないですね、脳に回路ができていますのであまり脳を使わないわけです。

それでは別の道を歩けば脳を使って新しい回路が出来るわけです。日常の中で新しいことをやって行くのは努力も必要ですし意外に難しいですね。一番手っ取り早いのは旅をすることです。旅をするのは全部新しい経験ですから。ただ旅も毎年京都に行って同じ旅館に泊まって同じものを食べるのは慰安旅行です。旅は見たこともない聞いたこともないところに行きなさいということです。毎日旅は出来ませんので日常はちょっと変わったこと、例えば昼食はパターン化された同じものではなく別な場所、別なメニューを考える。右脳、左脳論というのがありますが、人間の脳は新しいことを見ると右脳で考えると言われ、慣れてくると左脳に行きますが、新しいことをすると右脳が刺激されます。

5、6年前に介護施設を頼まれてやっていたのですが、新しい施設で大きな舞台があって周辺の住民が貸してくれと言ってきました。ハワイアンをやったりしていましたが、その中に60歳を超えてから独学でたて笛をやっている男性がいました。この笛がものすごく下手くそで、どのくらい下手かと言いますと、聴いている人にはボケた人もいますが、ボケた人も5分も持たずみんな部屋に戻って行ってしまいました。それくらい恐ろしい笛の音がしたわけですが、演奏している本人は新しいことに挑戦して脳活性化となりますが、ただ周りが非常に迷惑であったというボランティアでした。やはりボランティアというのは、大

工さんであれば無料で何か作ってあげるといように自分の持っている能力の無償提供が一番社会への助けになります。自分の能力を活かしたボランティアが非常にいいと思います。

日本では70歳を超えるとインターネット使用率が半分以下になってしまいます。体がだんだん動けなくなってコミュニケーションを取る手段としてはインターネットは非常によく、海外ではインターネットをやっている時は脳が活性化するという報告があります。同じ環境にいる方が面倒臭くなく心地良いと思いますが、やはり長期的に考えると新しいことに挑戦していくとか、挑戦できる環境が非常に重要です。臨床で介護という問題をさんざん見てきましたし、自分自身も経験してきましたが、介護になってくると違う大変さがあり、それは是非避けたい。あるいはなるべく先送りするためには予防しかありません。自分が出来る範囲の予防を頑張ってやるしかありません。

禁煙と同じですが、今日から出来ることをやるのが非常に重要だと思います。

最後に

先ほど生きがいの話をしましたが、長期的には何を目標にして生きればよいかということですが、ジャック・ニコルソンが主演した『アバウト・シュミット』という高齢者を扱った映画がありました。主人公は金もなくて何も無い年寄りという設定です。唯一の親戚に会いに行ってその親戚と喧嘩して帰ってきてしまう。本当にもう身寄りもない、金もないとい

う状態となります。そのラストシーンで彼が葉書を読むのです。何の葉書かというとアフリカの子供に何ドルか寄付をしてその感謝状なんです。そこで彼は自分の存在理由を見出すわけで、ほんのわずかなお金で自分が生きている理由を見出すのです。だから何も無くなって行く状況にだんだんとなるかも知れませんが何か自分が役に立っているということ、もちろん会社を続ける、社会貢献続けることが出来ればベストですが、出来なくなった時にどうやってそれを他のことに切り替えるかもすごく重要です。それがボケ予防になりますし、脳活性になります。家庭菜園をするということは自分がいなければ野菜が枯れてしまうということはそこに自分の存在理由がある。そういう考え方になります。それを発見していくのは長期的には非常に重



謝辞を述べられる司会の富田総務委員長

要なことです。

以上で終わりですが、いろいろお話しした中で今から出来ることは沢山あると思います。是非10年後にお会いしたいと思います。

お知らせ

エネ革税制は、 平成24年3月31日まで延長 となりました。

東日本大震災発生により6月末日までの期限となっていた「エネ革税制」は初年度即時償却も含めて平成24年3月31日まで再延長されることになりました。

尚、「グリーン投資減税」も新たに7月1日より創設され、同時並行で進められることとなります。

懇親パーティー

平成23年6月8日(水)16:00~17:40 八重洲富士屋ホテル2階「櫻の間」

日工販第42回通常総会、記念講演終了後、来賓及び会員146名が出席し懇親パーティーが開催された。

宇佐美専務理事の司会のもと、新たに選任された上田新会長(三菱商事テクノス㈱取締役社長)より就任の挨拶があり、次いで経済産業省製造産業局産業機械課課長藤木俊光氏並びに(社)日本工作機械工業会会長横山元彦氏より来賓のご挨拶を賜った。

続いて日本工作機械輸入協会会長千葉雄三氏よりご挨拶を賜り、同氏の乾杯のご発声で一同乾杯し、懇談が繰り広げられた。

定刻になり宮脇副会長の一本締めで中締めが行われた。



来賓ご挨拶

経済産業省産業製造局産業機械課課長
藤木 俊 光 様

ただいまご紹介いただきました産業機械課課長の藤木でございます。本日は日本工作機械販売協会総会が無事終了されおめでとうございます。長久保会長におかれましては大変激動の任期だったと思いますが大変力強く業界をリードしていただきありがとうございました。ご挨拶がございました上田新会長におかれましては、いろいろな形でご指導ご協力をいただければと思います。どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

やはり何をあいても3月11日の東日本大震災ということでございます。直接・間接に被災されました皆様方に対しまして心からお見舞いを申し上げたいと思います。いろいろ問題はまだまだ残ってございまして、いろいろサプライチェーンの中で引っかかっているものがあるとか、これから夏場に向け電力の問題あるいは放射線の問題など乗り越えなければならない問題は多々残っているわけございまして、私どもも懸命に取り組んでいるところでございます。

震災発生後3カ月になります。発生直後に私どもが思っていたよりかなり早いペースで産業・経済が立ち上がってきていると思います。ここにお集まりの日工販会員の皆様方の現場での頑張りが大きく寄与しているのではないかと考えております。皆様方のご尽力に対して改めて敬意を表したいと思う次第でございます。

ただ一方で復旧復興まだ緒についたばかりでございます。これから私どもも益々しっかりやっつけていかなければと思っております。またご挨拶にもございましたが国際的な競争は日本を待ってはくれないわけでございます。その中でしっかり勝っていくために何をするかとい



うことで官民挙げて様々な努力をしていかなければと思っております。

議論は途絶してはありましたがTPPとかFTAといった様な話しについても是非早々に議論を再開して我々としては諸外国との自由貿易というものを力強く進めていく、あるいはグリーンイノベーション、ライフイノベーションという事もやっつけていかなければならなりません。

今回あらゆる面で産業経済を震災を機に考えなければならぬわけでありますが、やはり日本のものづくり力を生かすためには、例えば精密加工を更に微細な物までチャレンジしていく、あるいは多品種少量というこれも20年位前から言われていますけどこれも更に突き詰めていかなければならず、そのためには革新的な生産システムをどんどん導入していかなければならず、特に日本を支えている中小企業の生産基盤をもう一回しっかりしていただく事も大切だろうと思っております。私ども役所でございますので何らかの形で後ろからサポートということしかできないわけでございますが是非日工販の皆様方と協力しながら日本の産業基盤、技術基盤、ものづくり基盤をもう一度しっかり立て直すことに取り組んでまいりたいと思う次第でございます。

皆様方の引き続いてのご支援あるいはご提

言、様々な形でのご協力を改めてお願い申し上げる次第でございます。震災対応で追いまわられている日々でございますが、それだけではなくて是非次の新しいステップに向けて皆様と一緒に頑張っていきたいという決意を申し上げまして、本日のご挨拶にかえさせていただければと思います。

本日お集まりの皆様方そして日本工作機械販売協会の益々のご発展そして飛躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

社団法人日本工作機械工業会会長
横山元彦様



ご紹介をいただいておりますが、私は日本工作機械工業会の会長を仰せつかってまだ2週間でございます。上田新会長は本日就任されまして、私同様よろしくお願いいたいと思います。

通常総会の開催誠にありがとうございます。先程上田新会長の新体制のご紹介がありましたが、私どもとしましては日工販の皆様方と如何にコミュニケーションを密にし、お互いに知恵を出し合って、共に歩むという事が一番大事なことであろうと思います。そういった決意で私

どもも進めてまいります。今まで以上にご支援をお願いしたいと思っております。

一般的な状況につきましては、上田新会長、藤木課長からお話しがございましたので申し上げるまでもないのですが、震災の関係で大変な被害に遭われた方々にお見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになられた方々にご遺族の皆様に対して心から哀悼の意を表したいと思いません。

工作機械のお客様も沢山被災をされ、日工販のご支援もいただきまして今日現在では何とか被災されたお客様の設備の復旧についてほぼめど付けが終わり、これからは東北地区の生産活動が軌道に乗るよう我々日工会としても日工販と一緒に復興に向け努力してまいりたいと思っております。

日工会の受注動向も先程上田新会長からお話ございましたので、私が申し上げるまでもないのですが、ご存知のように1月から4月迄は幸いなことに毎月1千億円を超す受注を確保することが出来ております。これも日工販様のお力添いがあったのでございまして本当に感謝の意を申し上げたいと思います。5月については今速報値を集計中でありまして最終的な数値が挙がっておりません。5月も感触を見ておりますと1千億円の大台は超しているようでございまして、そういう意味では内需の方も震災の関係でかなり心配していたのですが、それ程大きな影響は出ていないように感じます。

外需については引き続き特に東アジアを中心に大変好調な数字になっているのではと思っております。1千億円を超えたのではないかとこの事を皆様方にご報告し、それだけ仕事を確保していただいた日工販の皆様にお礼を申し上げたいと思います。

4月の受注で見ましても内需が330億円位で外需が7割を占めているのですが、その中で東ア

ジア地区がやはり330億円位です。東アジアだけで日本と同じようなレベルの受注規模があるということをごさしまして日本が330億円、東アジアが330億円、あと400億円がそれ以外のエリアというようなイメージになっております。外需が7割位の状況というのはおそらく今後も続くだろうと見ております。

先程藤木課長からお話がありましたが、やはり日本のものづくり、あるいは産業基盤をきちっと押さえ、日本のものづくりが国際競争力を維持していくためにはやはり内需という形で設備の更新等が行われながら製造業のものづくりの強さを維持していくことになるだろうと思います。そういう意味では内需がもう少し上がってきて欲しいと個人的な見解ですが思っております。

国内の製造業が円高の問題もありますが海外へシフトする、あるいは設備のピンチが落ちて生産性が落ちれば日本のものづくりそのものに影響いたしますのでそのようなことにならないよう我々日工会として我々の供給する設備、加工技術、信頼性等いろいろな面で、日本のものづくりだけではなく機械のものづくりを支えていくという、そんな高い志をもって進めていきたいと思っております。

グローバルマーケットも拡大しますが、いずれにしてもこのビジネスチャンスを生かし掴んでいく、そのためには日工販の皆様方の売りのプロフェッショナルのお力をお借りして、共に歩んで、共に栄えていきたいと思っております。先程上田新会長もおっしゃいましたが製販の協力体制をきちっと作り上げ維持していくことが大事であると思っておりますので、そういう面に心がけ私ども日工会の運営に当たっていききたいと思います。引き続き従来にも増してご支援ご協力をお願いしたいと思います。

最期になりますけれど上田新会長のもと日工

販の今後益々のご繁栄を祈念いたしまして簡単ではございますが私のご挨拶にかえさせていただきます。

日本工作機械輸入協会会長
千葉雄三様



日本工作機械輸入協会の千葉でございます。本日は誠におめでとうございます。私は輸入協会の会長になりまして2年、皆様の前でご挨拶をさせていただきました事が過去4回ございました。

リーマン・ショック不況のさなかでございまして、ご挨拶も「頑張りましょう」というご挨拶に終始しておりましたが、今年の1月、2月を見ておりますと非常に力強い回復が見えまして5回目の挨拶は景気良く打ち上げられるかなと思っておりましたが、3月11日の大震災以降その予想は飛んでしまいまして、私どもの会社でも注文書が出るという案件が、ちょっと待てとか3カ月延期、6カ月延期また無期延期まで出てしまいまして、去年一昨年に戻るのかと随分心配いたしました。

しかしその後いろいろなお客様とお目にかかり、また現場からの報告を聞いておりますとお

第42回 通常総会

お客様の設備投資のマインドが全く衰えていないということがわかりまして、ここにいらっしゃる皆様方もその通りだにご同意いただけるのではと考えております。震災による影響も近い将来元に戻っているのかもしれませんが、とにかく1月、2月の状況に戻ると確信しております。

私ども輸入工作機械を販売しております会社の集まりでございますが、皆様の競争相手という事では必ずしもございません。販売協会の皆様が調子良いというときは私どもも調子が良いわけございまして、皆様がイマイチと思っておられる時は私どももイマイチでございまして、利害関係を異にする仲間と私は考えております。皆様のこれからは益々良くなるという認識のもと、共に頑張りたいと考えております。よろしく申し上げます。

それでは皆様のご健康とご発展を祈念しまして、乾杯。



宮脇副会長による中締め



司会の宇佐美専務理事



平成23年度 日工販新役員 (役職名は7月1日現在)

協会役職	会社名	役職名	氏名
会長	三菱商事テクノス(株)	取締役社長	上田 良樹
副会長	(株) トミタ	取締役社長	富田 薫
副会長	三栄商事(株)	取締役社長	後藤 正憲
副会長	宮脇機械プラント(株)	取締役社長	宮脇 隆一郎
専務理事			宇佐美 浩
理事	伊藤忠マシンテクノス(株)	取締役事業本部長	丹波 優
理事	(株)兼松K G K	常務取締役	高橋 茂
理事	双日マシナリー(株)	取締役社長	中島 和彦
理事	(株)豊通マシナリー	常務取締役	田尻 哲男
理事	(株)N a I T O	取締役社長	鈴木 斉
理事	(株)ナチ常盤	取締役会長	野上 彰
理事	丸紅マシンツールズ(株)	取締役副社長	角田 勉
理事	三井物産マシンテック(株)	取締役社長	谷本 敦
理事	ユアサ商事(株)	専務取締役工業マーケット事業本部長	鈴木 通正
理事	(株)井高	取締役社長	高田 研至
理事	サンコー商事(株)	取締役社長	野路 周治
理事	三立興産(株)	取締役社長	加藤 斉
理事	(株)東陽	取締役社長	羽賀 象二郎
理事	(株)不二	取締役社長	池浦 捷行
理事	山下機械(株)	取締役会長	山下 隆蔵
理事	赤澤機械(株)	取締役社長	赤澤 正道
理事	伊吹産業(株)	取締役社長	横幕 武夫
理事	植田機械(株)	取締役社長	松田 紀男
理事	京華産業(株)	常務取締役	岩切 修
監事	(株)テツカ	取締役社長	三橋 誠
監事	下野機械(株)	取締役社長	下野 信重
監事	(株)山善	上席執行役員機械統括部統括部長	関矢 信雄
顧問	植田機械(株)	取締役会長	植田 精一

委員会委員長

委員会	会社名	役職名	氏名
政策委員会	三菱商事テクノス(株)	取締役社長	上田 良樹
総務委員会	(株) トミタ	取締役社長	富田 薫
教育委員会	三栄商事(株)	取締役社長	後藤 正憲
調査広報委員会	(株)豊通マシナリー	常務取締役	田尻 哲男
国際委員会	三井物産マシンテック(株)	取締役社長	谷本 敦
東部地区委員会	丸紅マシンツールズ(株)	取締役副社長	角田 勉
中部地区委員会	(株)井高	取締役社長	高田 研至
西部地区委員会	赤澤機械(株)	取締役社長	赤澤 正道

平成23年度 日工販役員



会長兼政策委員長
上田良樹



副会長兼総務委員長
富田薫



副会長兼教育委員長
後藤正憲



副会長
宮脇隆一郎



専務理事
宇佐美浩



理事
丹波優



理事
高橋茂



理事
中島和彦



調査広報委員長
田尻哲男



理事
鈴木斉



理事
野上彰



東部地区委員長
角田勉



国際委員長
谷本 敦



理事
鈴木 通正



中部地区委員長
高田 研至



理事
野路 周治



理事
加藤 斉



理事
羽賀 象二郎



理事
池浦 捷行



理事
山下 隆蔵



西部地区委員長
赤澤 正道



理事
横幕 武夫



理事
松田 紀男



理事
岩切 修



監事
三橋 誠



監事
下野 信重



監事
関矢 信雄



顧問
植田 精一

甘回辛回

『出会いと人生勉強』



(株)日本精機商会
東京支店長
長 沼 洋

私が23歳の時にメーカー営業マンとして東京支店に配属された折、先輩に言われた言葉を思い出す。事務所で真面目に聞いたのか、お酒を飲みながら今は定かではないが、簡単に言うと「営業マンとして東京支店へ来たならば、自分の為に努力し世の中に必要となる人間になりなさい」必要な人間になれば会社は手放さないし、倒産ややむを得ない退社でも拾う神がある」と言う言葉でした。この先輩は私が何をやるにしても、やる事、考える事を全てお見通しであり、全く歯が立ちません。この方を抜きに出るには何が必要か、毎晩お酒を飲みながら考えたものでした。

商社営業マンに移った折には、次なる先輩から「人に利用されるな、必要とされよ」と教えて頂きました。お二人ともごく普通の方々であります、この年になり先輩達は人を見て育てるプロだったと理解した次第です。

わが人生の中、41年間も工作機械界に携わっています。教えて頂いた先輩の存在も有りますが、何故、この業界一筋でこれたのか。結局、工作機械の製造、販売に携わる仕事が好きなんだと思います。沢山の顧客、経営者、同業者の方々と知り合い、熾烈な競争、勝敗を分けての達成感、全て同じ事が無い中、分析、判断、行動しメーカーや顧客に相対します。何時も新しい状況での、混沌とした業界営業が魅力なのだと思います。まして相手はプロであり、知識、能力、経験が少ないと、相手にされない厳しい環境もあります。

頂く商談を如何に進展させるか、自分を如何に必要とされるかなど、大変難しい職業かもしれません。その様な中、これからの国内営業で難題なのは顧客の海外進出、日本に残る企業は「中国単価」との戦いです。「ものづくり」を優先すると言っていた、あのトヨタでさえ円高情勢下等もあり国内生産に危惧を抱いています。更に大震災後、被災地の製造業者の方には申し訳ないのですが、仕事の転注や海外シフトが強まると思われます。

最近、茨城 小生の自宅所在地で、50名程度の加工業者が倒産致しました。私の知る限りでは、外国人労働者を雇用し、自動化を図って24時間稼働していましたが複数の親会社が中国生産に切替えた為の行き詰まりとの事でした。明日は我が身とならない様に、対策を考える事が大切です。原発事故での想定外、政治面で内閣不信任の駆引きなど、政治・報道への憤りを覚えるのは私一人ではないと思います。

定年まで後・・・年の中で、もう一波乱起こる気配がありそうです。これから出会う方々と、新しくお付き合い出来ます様に自分に魅力を持たせたい。人には性善説、性悪説とそれぞれの考え方、生き方があると聞きます。物事を多面的に捉え、世の中に必要とされる人となれる様に、明日も勉強を続けます。先の先輩方に顔向けが出来る様、次に続く後輩が活躍できる様な指導力を持ちたい。これが私の想いです。

分かりやすい話題の技術

Inteligible Recent Technics ★

No.123

「複合化が進む工作機械、 5軸制御マシニングセンタと研削加工の融合」



ヤマザキマザック(株)
VRX・VRTXプロダクト
プロダクトマネージャー
横江年彦

昨今の顧客ニーズとして“変種変量”に重きを置く生産システムの構築における“加工の高付加価値化”への動きが顕著にみられます。CNC旋盤にミル加工機能を付加した機械に端を発した複合加工への流れは、多軸化ともあいまって進化を続けてきました。その流れはマシニングセンタにも波及し、弊社では5軸制御マシニングセンタである「VARIAXIS(バリアクシス)シリーズ」に旋削加工機能を付加した「VARIAXIS-T」へと進化を続けてきました。ここでは5軸加工+旋削加工の機能を持つ「VARIAXIS-T」に研削加工機能をさらに付加した複合加工機を紹介いたします。旋盤ではチャッキングが困難な【異形状】、それ故【多面加工】が必須であり一部に【旋削加工】+【研削加工】を必要とする様な対象ワークの生産性の向上に大きく貢献するものと期待されております。

研削加工機能を付加するに当たり、5軸制御マシニングセンタであり同時に旋削加工も可能なVARIAXIS630-5X T を選択しました、その主な仕様を表1に、機械全景を写真1に示します。

仕様	VARIAXIS630-5X T
X × Y × Z 軸移動量	630 × 765 × 600mm
作業テーブル	630 (最大ワーク: 730 × 500mm)
A・C 軸移動量	+30° ~ -120° ± 360°
ミル主軸	# 40, 18,000min ⁻¹ 22kW (連続)
旋削主軸	1,100 min ⁻¹ 18.5kW (連続)
旋削加工	A 軸 (傾斜軸): 0° (水平), 90° (垂直) の 2 位置にて旋削可能

表 1



写真 1

5軸制御マシニングセンタを利用し研削加工を行う有利な点は砥石とワークの相対位置を5軸制御により自由に設定できることにあります。

研削加工を連続的に行う場合、砥石の目詰まりの問題を解決することが重要な課題であり、通常の研削盤には砥石の「形直し」「目立て」を行う装備が必ず付加されており連続加工を可能にしています。今回の5軸制御マシニングセンタベースの研削加工機はこの問題を考慮し、機内にて砥石の成形が行える様にすることが大きな特徴です。

今回通常の5軸制御マシニングセンタに付加した装置・機能を表2に、また加工エリア内の装着状況を写真2に示します。

- ・研削加工を効率良く行う為、砥石の「ツルイーイング」と「ドレッシング」及び「寸法計測」をミル主軸の稼動範囲内で行えるよう、必要な各装置を機内に設置した仕様とし、機械正面向かって左手前にホワイトストーンとレーザー式工具測定装置を設置(写真3参照)、右手前にロータリードレッサーを配置。(写真4次頁参照)また「ツルイーイング」「ドレッシング」「寸法計測」の各動作はマクロプログラムにより自動で行えるようにした。

研削加工仕様	内 容
ロータリードレッサー	機械内部に配置され、砥石の「ツルイーイング(形直し)」と「ドレッシング(目直し)」を高能率に行う。(写真4参照)
ホワイトストーン (水平・垂直方向取り付け)	機械内部に配置され、砥石の側面、底面の「ドレッシング(目直し)」を行う。(写真3参照)
レーザー式工具測定装置	機械内部に配置され、砥石の「寸法計測」を非接触で行い、そのデータを元に所定の寸法に追い込みを掛ける。(写真3参照)
グラインダー機能	研削加工時に「ミル主軸」と「旋削主軸」を同時に回転可能としワークを鏡面状に加工すると共に生産性を向上させる機能。
機械の砥粒対策	<ul style="list-style-type: none"> ・研削加工で発生する被削材の粉及び砥粒の侵入を防止する対策を施してある。 ・クーラント処理として遠心分離機、二次処理フィルターを装着。

表2



写真2



写真3

- ・特に円筒形状の内径、外形研削加工に対応しミル主軸と旋削主軸を同時回転させ加工できる「グラインダー機能」を追加した。これによりミル主軸を軸移動させずに加工でき(ミルターンニングの動き)高精度にまた加工時間も短縮することができ、加工面も高品位に鏡面状に仕上げることができる。
- ・研削加工において本機側の対応として留意しなければならないのは、切粉、砥粒が各部位に侵入し与える影響である。特にテーブル周りに関し内部エアパージ等により切粉、砥粒の侵入対策を施した。またクーラントの浄化システムとして一次側は遠心分離機、二次側はシックナーバックセパレータにより浄化可能なものを設置した。

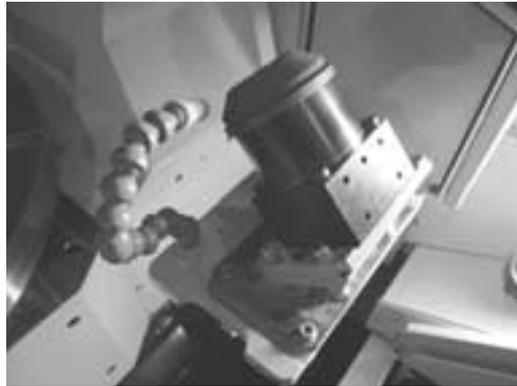


写真4

最後に実際に研削加工を実施した諸条件と共にその結果を報告いたします。

被削材と砥石、切削条件を下表3に示します。円筒形状の内径の研削を行ったものであり、被削材(旋削主軸)と砥石(ミル主軸)を同時回転させて行う「グラインダー機能」を使用し、砥石(ミル主軸)をZ軸(上下軸)方向に送り(トラバース送り)をかけて研削を行いました。(図1参照)

項目	条件
砥石	材質：ダイヤモンド 結合材：レジンボンド 粒子：# 200 集中度：100 外形：60mm
被削材	焼きいれ工具鋼 HRC：40～50 内径：80mm 切削幅：20mm
ミル主軸	10,000min ⁻¹
旋削主軸	60min ⁻¹
Z軸送り (トラバース送り)	50mm/min

表3

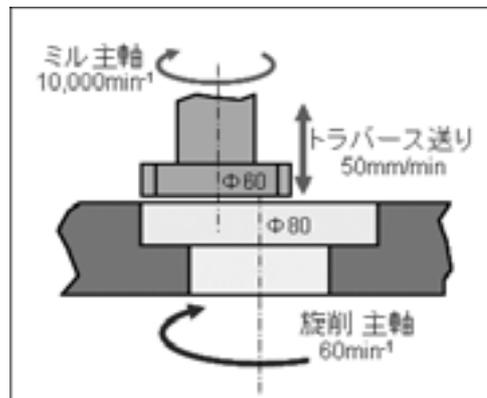


図1

被削材の加工面、面粗度の測定データを図2に加工面の状態を写真5に示します。Raにて0.18 μmと良好な結果が得られました。

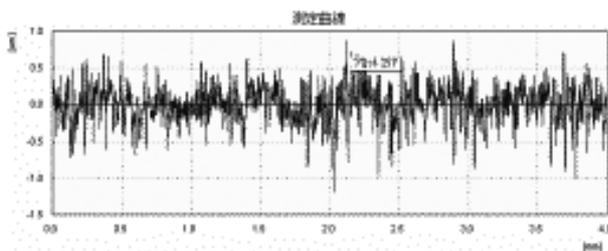


図2

Ra	0.18 μm
Ry	1.58 μm
Rz	1.29 μm
Rq	0.23 μm



写真5

議事録から

第233回 定例理事会

日時：5月11日(水) 13:00～15:45

場所：安保ホール 601号室

出席者：長久保会長、副会長2名、
専務理事、理事17名、監事2名、
事務局1名

会長挨拶：

総会を控えており、議案について審議、決議をいただきたいと思います。前回の理事会後3月11日に大震災が起き、日工販としては、皆さんに事前にご了解をいただきましたように100万円を義援金として東北地方太平洋沖地震東京都義援金に寄付をさせていただきました。金額はそれ程多くはないかもしれませんが、皆さんの厚意といいますか気持ちを伝えたいということで提案させていただきました。殆どの方に賛同いただき実行することが出来、本当に有難うございました。日工販のメンバーの方々の中にも被災された方、ご家族、お客様、仕事、色々あるかと思えます。その方々の1日も早い復興を祈っておりますし、ご不幸に会われた方々のお見舞いを申し上げたいと思っております。大きな日本の問題といいますか転換期に入ったと思えます。この大災害が良い形で日本復興、日本再生に向かってほしいと個人的には思っております。短期的には非常に厳しい経済環境になるかと思えますが、日本が変わるチャンスは有ると思えます。

工作機械の販売においてもお客様の状況が違いますので当然跛行性が高いと思えますし濃淡があるかと思えますが、我々のお客様が1日でも早く正常な状態になっていけるよう会社単位でもやりますが協会としてもサポートできる場所があればやって行きたいと思っております。

す。それではご審議をよろしくお願いいたします。

議題：

[付議事項]

(1)総会議案の件

平成22年度事業報告案と決算案について

平成22年度事業報告書(案)

専務理事より説明。第一頁は日本経済・工作機械業界の推移そして協会事業活動、次頁より事業活動詳細となっている。

平成22年度決算報告書(案)

一般会計：収入は予算対比微増、主な理由として正会員、賛助会員(メーカー)の入退会により微増。支出は予算対比減、主な理由として事業補助費減(各委員会で予算を残している)。

教育事業特別会計：収入は予算対比増、主な理由として、教育委員会では景気が完全に回復していないため受講生数をかた目に予想したが、結果として特にSE講座受講生数が予想に比べ増加。支出は予算対比減、主な理由としては、通信講座テキストを全て内製化できた事による。

上記決算案を総括すると、期初予算に比赤字幅が減少。

審議の結果、平成22年度事業報告と平成22年度決算案は承認された。

平成23年度事業計画案について

内容については前回の理事会で既に説明済。審議の結果、平成23年度事業計画案は承認された。

平成23年度予算案について

一般会計：収入は前年度同様会費は半額であ

るが、前年度決算対比微増。主な理由としては、賛助会員増による。支出は前年度前年度決算対比減、主な理由の事業補助費減による。

教育事業特別会計：収入は前年度決算対比増、主な理由として景気の動向に合わせ教育委員会で昨年度に比べ受講生数を多めに予測したことによる。支出は、教育事業費はほぼ前年度決算と同様。

上記予算を総括すると昨年度決算に対して赤字幅が減少。

尚、50周年記念行事積立については、一般会計の中に50周年記念行事の項目を設け毎年度積立てる事とする。

審議の結果、平成23年度予算案は承認された。

役員改選による会長、副会長案について次期会長に三菱商事テクノス(株)社長上田良樹氏(新任)、副会長に(株)トミタ社長富田薫氏(留任)、三栄商事(株)社長後藤正憲氏(留任)、宮脇機械プラント(株)社長宮脇隆一郎氏(新任)を候補として互選され第3号議案として総会に上程する。

[報告事項]

(1) 流通動態調査1・2、日工会工作機械短期受注観測調査

流通動態調査1(受注・売上)については、年度集計3月が出たので、平成22年度の工作機械受注合計は前年比181%となった。従って日工会発表平成22年度内需合計に対し正会員39社の合計は59%、約6割となった。流通動態調査2(受注見通し)4月調査結果は東日本大震災後の調査なので1月調査結果に比べて全体的に見通しは悪くなっている。日工会の短期受注観測調査22年3~23年4月までの報告説明があった。日工会短観4月は全体的にかなり良くなっている。

(2) 委員会報告

政策委員会・日工会役員懇談会4/5

会長より報告：日工会は中村会長以下役員と日工販は政策委員が出席。年1、2回このような形で意見交換会を行なうのは非常に良いとの印象を受けた。経営トップの方が持っている考え方、少し先を見た考え方が大変参考になると思う。現在の日工会との好関係が更に築かれたと思う。

調査広報委員会3/24

田尻委員長より報告：前回理事会で既に承認いただいている日工販ニュースの発刊数削減の具体案について討議した。平成23年度5回発行であるが、JIMTOF開催年についてはJIMTOF記事の必要性から年6回に決定。表紙の表示を従来は1、2月号としていたが、VOL.1-2011、VOL.2-2011の表示にすることを決めた。

西部地区会員懇談会3/17

赤澤委員長より報告：会員懇談会を開催。正会員・賛助会員合わせ32名の方が出席。懇談会は震災直後だった為、お客様の影響等を中心に情報交換を行なった。

(3) その他

日工販総会後の記念講演について

専務理事より：講師は、米山公啓(よねやまきみひろ)氏(59歳)。医師であり作家。240冊以上の本を執筆。あきる野市の医院で診療を続けて、講演活動もやっており、テレビにも出演されエネルギッシュな方。演題は「脳が若返る方法」で、脳が専門とのことで面白い講演をしていただけたと思う。

次回定例理事会：

日 時：7月6日(水) 12:30~15:00
場 所：機械工具会館 6階

中部地区正・副会員懇談会

日時：6月13日(月) 12:00～15:00

会場：(株)井高 本社5階会議室

参加者：18名

高田地区委員長より、挨拶、景況報告に続き、6月8日開催の日工販総会からの報告として、長久保会長から上田会長への改選、今年度も会費は前期のみとし支出の節減を図ること、又、記念講演「脳が若返る方法」の概要が報告された。

議事：

(1) 23年度、中部地区行事計画と進め方についての意見交換

23年9月 製品勉強会

- ・中部では「メカトロテックジャパン2011」の開催もあり、連動した事前勉強として複合(旋盤)加工機を検討とした。

23年10月 懇親ゴルフ会

- ・下期ならば開催しても良いのではとの意見が出され開催の方向で検討とした。

23年11月 工場見学会

- ・候補2社検討。

23年12月1日 講演会、忘年会

- ・講師：リニア、航空機で模索する。

以上で折衝を進める。

24年2月 情報交換会

(2) 市場動向など意見交換

各社報告概要

前期業績は対前々期で30～40%のアップ、対ピーク時の50～70%まで戻している。

又、ようやく黒字化を期したなどの報告があった。

今期に入ってから順調に推移の会員があれば、片や震災の影響を受けて引き合い、受注共に不調となっている会員社もあり、海外設備への展開などが絡んで斑模様とみられる。又、原発停止に伴う節電に関しては、殆どの会員会社に於いて踏み込んだ指針が出されており、窓の開放やエアコン設定温度のアップ(28℃)、扇風機の導入、クールビズ、エレベーターの利用規制、照明器具の間引き等々の対応が進められていることが報告された。又、この機に発電機やLED蛍光灯のPRなども一部会員では進められている。

高田委員長からのまとめ

各社からの報告のように不安定な要素はあるものの、今期も何とか黒字には出来るのではないかと。又、大手の場合、建機はまだ伸びが見込めるものの、中小に於いては斑模様と見られる。そして大手の設備は殆どが海外向けであることから、今後海外に向けてどのように取り組んで行くかが課題と考えられる。

このため弊社ではTOEICの取得も議論している。節電対策については、今年はまだ良く、来年に向けて原発が順次点検に依って停止し、その後の再稼動に許可を出す知事は見当たらないのではと考えている。この為、来年は更に発電余力が落ちる中で自動車業界は今年よりも稼働率が戻るだろうということになれば、今から準備が必要な状況ではないかと考えられる。

そうなれば電力の問題、円高の問題を含めて日本から海外へのシフトが加速される雰囲気となる。こういった状況に対して我々商社は何が出来るかを考えなければいけないと思われる。

加藤副委員長から、厳しい環境の中にあるものの、昨年よりも今年が良くなっている雰囲気があるので、力を合わせて業界を盛り上げ

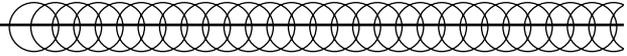
て行きたい！との言葉で懇談会が閉会となった。



日工販SE合格者 第183回 発表

今回は5月の合格者28名と6月の合格者16名です。

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
11-20-2531	(株)Na I T O	福田 真実	11-20-2553	大和重工(株)	井上 圭司
11-20-2532	三菱商事テクノス(株)	松尾 和明	11-20-2554	大和重工(株)	高下 哲也
11-20-2533	岡谷機販(株)	東 智生	11-20-2555	大和重工(株)	西田 武之
11-20-2534	(株)日本精機商会	福山 清	11-20-2556	大和重工(株)	杉山 雅宏
11-20-2535	(株)日本精機商会	山崎 直人	11-20-2557	(株)ユーマシン	竹内 基揮
11-20-2536	ワシノ商事(株)	三幣 智史	11-20-2558	ひろぎんリース(株)	出海 晃
11-20-2537	(株)山 善	渡邊 靖文	11-19-2559	三菱商事テクノス(株)	松本 賢市
11-20-2538	(株)山 善	西田 潤	11-20-2560	(株)トミタ	坂東 臣栄
11-20-2539	(株)森精機製作所	大久保幸仁	11-20-2561	(株)Na I T O	武藤 浩二
11-20-2540	三菱U F J リース(株)	鈴木 裕香	11-20-2562	(株)Na I T O	岩崎 伸二
11-20-2541	首都圏リース(株)	上農 大裕	11-20-2563	(株)Na I T O	森田耕一郎
11-20-2542	首都圏リース(株)	佐藤 徳彦	11-20-2564	三栄商事(株)	古澤 真
11-20-2543	首都圏リース(株)	川原美乃里	11-20-2565	(株)日本精機商会	明石 浩一
11-20-2544	近畿総合リース(株)	山元 優花	11-20-2566	(株)山 善	酒部 泰一
11-20-2545	近畿総合リース(株)	大庭 康介	11-20-2567	(株)山 善	山手 康司
11-20-2546	近畿総合リース(株)	尾本 英俊	11-20-2568	(株)山 善	秋山 卓也
11-20-2547	近畿総合リース(株)	河合 秀勝	11-20-2569	(株)森精機製作所	河村 利行
11-20-2548	(株)ナベヤ	瀬古 和人	11-20-2570	三井住友ファイナンス&リース(株)	坂越 弘和
11-20-2549	(株)ゴーショー	樋口 洋之	11-20-2571	三菱U F J リース(株)	久保田 雄
11-20-2550	(株)ゴーショー	千藤 秀昭	11-20-2572	近畿総合リース(株)	柿本 敏史
11-20-2551	大和重工(株)	高谷 幸男	11-20-2573	(株)ナベヤ	濱島 徳男
11-20-2552	大和重工(株)	谷川 智洋	11-20-2574	山田マシンツール(株)	反町 猛



平成23年度 SE講座・更新研修 講師打合せ会

日 時：6月10日(金) 15:30～16:30

場 所：機械工具会館 3階会議室

出席者：SE講座講師8名、更新研修講師3名
事務局3名

宇佐美専務理事より挨拶があり、ご出席された講師より新講師を含めて自己紹介が行われた。

議 題

1) 23年度講座集合教育日程・開催場所の報告

SE講座：10月 6日～08日（名古屋）I.M.Y
10月13日～15日（大 阪）新梅田研修センター
10月20日～22日（東 京）機械工具会館
更新研修：11月11日～12日（名古屋）I.M.Y
11月25日～26日（東 京）機械工具会館

注 名古屋会場については講師打合せ後、「I.M.Y」より「マザックアートプラザオフィスタワー」に変更となりました。

2) 22年度SE講座・更新研修総括及びテスト結果

基礎講座は新人が少なく結果的には39名となり会員外の受講生が58%。

SE講座は実績150名で正会員が45%、メーカー27%、リース13%、会員外15%。SE資格はSE資格取得後5年以内に更新研修を受講しないと失効するが、2年前までの更新研修は1日の必修講座を受けてSE講座、通信教育の組み合わせであったが、昨年度より従来の必修講座と1日の特別講座の組み合わせとなり、SE講座及び通信教育受講義務の必要はなくなった。従って一昨年までの受講者で通信教育が未了なため更新研修が完了していない受講生について、特別講座を受ける事で資格取得出来るように救済することにした。その結果、更新研修は88名中21名が対象となっている。今年も対象者が多く出てくると思われる。テスト結果は受講者の経験・職種関連等もあり、あくまで参考。

3) 22年度講座アンケート報告

アンケート結果は受講者の能力・理解度から要望内容が違っている。

受講者から要望の多かった新分野等については講義に盛り込み、講義間の休憩時間が10分では携帯電話対応には短いとの意見が多く15分に変更。

各講座のアンケート結果は講師宛送付済。

4) 23年度SE講座・更新研修募集要項内容について

カリキュラムの変更と日程・場所等の確認を行なった。

昨年との変更点は「最近の工作機械の展開と活用」講座の講師が辞めることになり、「切削機械の動向」講座と内容が若干似ているため、「切削機械の動向」講座に集約し、新たに希望が多かった「切削工具」の講座を設け、講義時間は90分授業とした。講義中の休憩は講師に一任。

5) 23年度テキスト・テスト問題について

テキスト・テスト問題改訂の有無、講師宿泊手配などを確認。

6) 23年度基礎講座受講予定者

昨年は39名だったが、今年は52名にて1回開催のみとなり、6月16日(木)～18日(土)に開催予定。



平成23年 SE教育基礎講座 実施報告

第19期基礎講座は例年通り新人の方々を対象にして日本工業大学で開催されました。一昨年から続いております厳しい経済環境下、新入社員採用への影響もありましたが、51名の受講生での開催となりました。会員の皆様方へは心よりお礼を申し上げます。

受講生におかれましてはここで得られた成果を今後の営業に活かされますよう祈念いたします。

開催日：6月16日(木)～18日(土) 受講生51名

会場：日本工業大学内学友会館 工業技術博物館、機械工作センター、機械実習教室

カリキュラム：

第1日：工作機械の概要、業界の現状を受講後、工業技術博物館で動態展示工作機械類等を見学。その後機械工作センターで現在のNC旋盤、マシニングセンタを見学。更に立形マシニングセンタによる加工実演を見学。また、プレス加工機・レーザ加工機実演を見学。

第2日：午前中、工作機械の要素、切削理論、加工物材料を受講。午後は実習講師のもと、旋盤、フライス盤、ボール盤、測定、キサゲ・ヤスリ仕上げ作業の5工程を実習。

第3日：午前中はプレス加工とプレス機械の基礎を受講。午後は生産財設備販売担当の心得と仕事。引き続き機械納入・据付時安全管理及び納入検収作業心得を受講。

(第2日、第3日の午後の講義、実習は2グループに分かれ交互に実施。)

日本工業大学のご協力を得て実機による実習を体験され、工作機械の理解と親しみをかなり深められたと思います。受講生各位には会社へ戻られて今後それぞれの分野で活躍されますとともに近い将来日工販SE資格の取得に挑戦されることを切に希望いたします。

当講座の開催にあたり、多大なご協力をいただきました日本工業大学工業技術博物館館長の松野教授をはじめご指導をしてくださりました講師の皆様へ紙面を借り心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました。



工作機械と私



三井物産マシンテック(株)
先端技術営業本部 第一部
セールスマネージャ
洞 奥 哲 史

私が三井物産マシンテック株式会社に入社しまして10年が経ちました。

入社当時は『マシニングセンタ?』『NC制御?』『ミクロンμ?』と聞いたことのない専門用語が社内・社外でも飛び交い、何も解らないままカタログとただ向き合っていたことを思い出します。

小学校から大学まで運動ばかりやってきた私は体力だけが自慢で、あとはやる気と負けん気だけで、ここまで仕事を続けてきました。

この工作機械業界は体質が古く、厳しい業界ではありますが、“ものづくりの原点”であり、とても働き甲斐があります。

本社において3ヶ月の新人研修の後、大阪勤務が決まりました。そこで自動車業界を担当させて頂くことになり、毎日各工場、部署を回り続けました。最初はアポイントすらなかなかとれず、会えても数分のみ立ち話であったり、時には言葉遣い等で注意されたこともありました。しかし、諦めず通い続けていく中で商談も増え、仕事が楽しくなっていました。また、お客様から機械の詳細、あらゆる自動車部品の知識、図面の読み方、そして人生論まで教えて頂けるようになると同時に、引合も増えていきました。

あるラインの立ち上げ契約において受注した数台の機械の納期調整からうまく進まず、機械精度も思うように上がらず、夜中までの作業が日々続いたことがありました。体力には自信があった私も連日連夜の寝不足で心身共に弱っていました。

そのような時、上司に『自分の時間をどれだけ相手のために費やせるかが重要だ』と心強い言葉をかけられ、挫けそうになった気持ちが救われ、再び気合が入りました。

機械搬入後、全ての機械において順調に精度調整が進行する時ばかりではありません。思うように精度が上がらず、トラブルに陥ったことも多々あります。そのような状況下でこそ、客先担当者や現場作業員、検査担当者、そしてメーカー担当者という立場の違う者同士が協力し、各自の知識や判断と経験の組み合わせによって、一つの課程を達成していくのであると身をもって学習しました。

このような機会をいただききまして改めて考えてみますと、仕事を続けてこられた一番の理由は、社内でも社外でも尊敬出来る方々に巡り会えたことだと思います。

これからも感謝の気持ちを忘れることなく、あらゆる状況に応えられるよう常に身体を鍛え、大好きな会社・工作機械業界で日々挑戦していきたいと思えます。

『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの 「マネジメント」を読んだら』

岩崎夏海著(ダイヤモンド社)



(株)テツカ
大森営業所主任
村上朋生

皆さんは、「ピーター・F・ドラッカー」という人物をご存知でしょうか？ 1963年、彼が63歳の時に著した「組織経営」についての本が『マネジメント』という本であり、この本が最近巷で話題となり火付け役となったのが、『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』(もしドラ)で今年6月には映画化された話題の一冊を今回上司からお借りでき、良い機会でしたのでこの本を読みました。

この本は高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を参考に弱小だった野球部を甲子園にまで導いていく物語なのですが、小学・中学・高校・大学と硬式野球をしてきた私としては正直ありえないと思いました。プロ野球ならレベルも高く、指示通りに働いてくれる選手ばかりなので、『マネジメント』すれば強いチームが誕生する可能性はありますが、高校野球でそれをやっても個人レベルの格差があるので、『マネジメント』を当てはめていくのは非常に難しいと思いました。

ただこの小説を読んでいくと、何力所か気になる内容が出てきました。まず一つ目に「顧客とは誰か？」、これは『マネジメント』によると「出発点は顧客である、顧客によって事業は定義される」とあり、ここでは「野球部の顧客は？」となりますが単純に野球を観戦にきたお客と思いきや、野球が出来る環境を与えてくれた人、つまり親・教師・学校・高野連など取り巻くすべてが顧客であるという観点と、二つ目は「われわれの事業は何か？」がここでは、「野球とは何か？」・・・それは「顧客に感動を与えるための組織」= 野球の定義という観点到に驚きました。

先ほども申しましたように私はずっと野球をやってきましたが、このようなことを考えてプレーしたことは一度もありませんでした。いろいろ協力してくれた両親や、野球を指導して下さったこれまでの先生には感謝していますが、それ以外は野球をする環境が当たり前だったので自分の周囲を顧客とし、感動を与えるなど当時はそのような感情もなく、「野球が上手になりたい」と強く願っていただけでした。ドラッカーの『マネジメント』を高校の時に読んで野球をやっていたら、また違うプレーが出来たのではないかと感じさせられました。

この小説は高校野球に『マネジメント』を取り入れ、分かりやすく解説していましたが今度は自分の仕事に生かすバイブルとして、ドラッカーの『マネジメント』を購読したいと思います。

車内捜査事件の巻

さかい三十郎



「ちかん行為は犯罪です」都内の駅構内や満員車内では、こんなアナウンスがされるようになった。三十郎は「ちかん被害(痴女)」に遭った事がある。(JR中央線・中野駅でホシが下車する際に、手の甲にボールペンで印を付けたが...)。

さて本編も、京都駅から東京駅へ向かう新幹線車内で遭遇した実話である。読者諸氏、くれぐれもご注意ください。

1号車自由席の最後尾席を確保したあと、喉の渇きに負け缶ビールを飲み干した。名古屋を過ぎ、静岡駅を通過するころ事件が発生した。

乗客全員の顔面を確認していく中年の女性、後には車掌が付き添っていた。尋常でないことは女性の目つきから容易に想像がつく、血走っている。

車掌 「お客さん大丈夫ですか？ 人間違いだけはしないで下さい」

その女性は頷きもせず、逆に車掌見つめ返した。

女性 「間違えるもんですか。40年生きてきて、このような辱めを受けたのは初めてです。絶対に間違えません。」

恐らく進行方向先頭車両である16号車から回って来たのであろう。1号車となり前列乗客から一人ひとり確認される。会話が弾んでいた車内に緊張が走った。

確認されているのは“女性”ではない、“男”である。

捜している人物は誰？ まさかとは思うが私だろうか、いや面体を確認されるような仕業をした事はない...、何があったのだろうか？

車内空間は静寂を維持していた。

そして、最後尾に座っていた三十郎のもとへ車掌と女性の二人が向かってきた。やがて座席前で立ち止る気配がした。

三十郎 「まさか...俺か...」

口から心臓が飛び出すとはこのことであろう。やがて...

女性 「違います、この人ではありません。」

車掌 「この車両で終わりですよ、本当に大丈夫ですか、顔を覚えているのですか？」

女性の顔が蒼白となったそのとき、一人の中年男がデッキから1号車内に現れた。トイレに入り戻ってきたのだろう。

女性 「あ、あの人です。間違いありません。」

男の顔がゆがんで見えた。

女性 「この人です。間違いありません。トイレ内に押し入り、私にちかんとした人です。」

男のつぶやきが聞こえた。

男性 「そんなに騒ぐことはないだろう。君もいい気分を経験したのだから。」

女性 「あんな恥ずかしい思いをしたのは初めてです。許すことは出来ません。」

女性は車掌に向かって、ハッキリ言った。

女性 「警察に引き渡して下さい。訴えます。」

事の経緯は容易に察することができた。一瞬の間があり、やがて車掌の落ち着いた声が響いた。

車掌 「立派な外見に見えますが、これで貴方の社会人生も終わりですね。車掌室へ同行願います。よろしいですね。」

車内に平穏が戻りつつあった。三十郎は男が座っていたであろう右側座席を目で追った。そこには新聞のピンクページが広げてあった。

新聞に載っている小説みたいなことは、そうは起こらないよなあ。(期待はしたいが...)

近頃、満員電車内でチカ間に間違えられ、しかも訴えられるという事件を耳にする。裁判沙汰となっても、無事 無罪の判決が得られればよいが、そうでない事件もあるだろう。

そんな痴漢冤罪を描いた作品があり、現実見を増してくるからなお更怖い。周防正行監督の「それでも僕はやっていない(2007年)」裁判の実態を知らしめてくれた。

『皆さん、特に満員車内では片手に荷物を持ち、逆手は吊革を持つなど自己防衛するようにしましょう。』

車内サスペンスには佳作が多いが、中でもシドニー・ルメット監督の次の2作は秀逸である。

「オリент急行殺人事件(1974年)」

列車内で殺人事件が発生し乗り合わせていたアルバート・フィニー扮する名探偵ポワロが犯人を推理する作品。(原作はアガサ・クリスティ)

共演陣が豪華であり話題になった。良きハリウッド黄金時代を担った女優イングリッド・バーグマンとローレン・バコールに加えショーン・コネリー、アンソニー・パーキンスも顔を揃えている。

「12人の怒れる男(1957年製作)」

若者の殺人容疑に対する“陪審員評決の推移”が描かれている。

当初11人が有罪に投じるが、やがて12人全員が無罪投票するまでの議論の模様を、舞台劇の如く緊張の中に描いた秀作である。最初に無罪を主張する一人を演じたのは、名優ヘンリー・フォンダだ。



(イラスト：USAMI)



リレー随筆



伊吹産業(株)
名古屋支店
小森 俊輔

今年も早いもので半年が過ぎてしまいました。

3月には東日本大震災があり、多くの方々が大なる被害に遭われています。一日も早い復興をお祈りしております。私に出来る事は限られていますが、出来る事を精一杯して行こうと思っています。

今回リレー随筆の依頼を受け、何を書かせていただこうかと考えていましたが、なかなか良いテーマが見当たらず、趣味について書こうと思います。

幼い時から父親がスポーツをしているところを多く目にし、一緒に体を動かす事が多く、運動が大好きになりました。

今、主にやっているスポーツとしては、ゴルフ・サッカー(フットサル)・野球です。日曜日はほぼ毎週いずれかのスポーツで体を動かしていると言っても過言ではありません。

スポーツ少年団でサッカーを始めるまでは、父親が休日によくキャッチボールをしてくれたので、本当は野球をやりたいかったのですが、近所のお兄ちゃんがサッカーをやっていた為、ほぼ強制的にサッカーをやることになりました。小学校・中学校とサッカーを9年間続けていました。入学した高校にサッカー部がなく、仲間内でサッカー部の立ち上げに頑張ったのですが、私の出身校は野球に力を入れていた為それも叶わず…。そのため高校時代は密かにトレーニングを続け、大学ではサッカーとフットサルのサークルに所属していました。フットサルは今でも続けていて、8月から地元の同級生・先輩・後輩とフットサルチームを立ち上げる予定をしています。

サッカー歴が一番長いのですが、今一番力を入れているスポーツはゴルフです。本格的にゴルフを始めて今年で4年目に入ります。今では父親と一緒に練習やコースに行くことも多くなって、以前より家で会話も増え、父親が勤めている会社の業界の話など参考になる話を聞いたりすることも出来るようになりました。さらに、色々なコンペに参加する事で、幅広い年齢層の方々を知り合うきっかけにもなり、色々ためになるお話を沢山聞くことが出来ますし、私自身ゴルフを通じて成長出来ているのではないかと考えています。

この業界に入り2年がたとうとしています。まだまだ勉強不足で学ぶことが多く大変ですが、お客様の御用聞きにならないよう、学んだ事を生かしてお客様のお役にたてるように日々努力していきたいと思っています。一日一日を全力で、仕事も趣味も全力投球出来ればと思っています。

今回の「リレー随筆」は(株)牧野フライス製作所 製造ソフトウェア事業部の猪股 悠様をお願いしております。

統計資料

工作機械・FA 流通動態調査 1

統計1

単位百万円

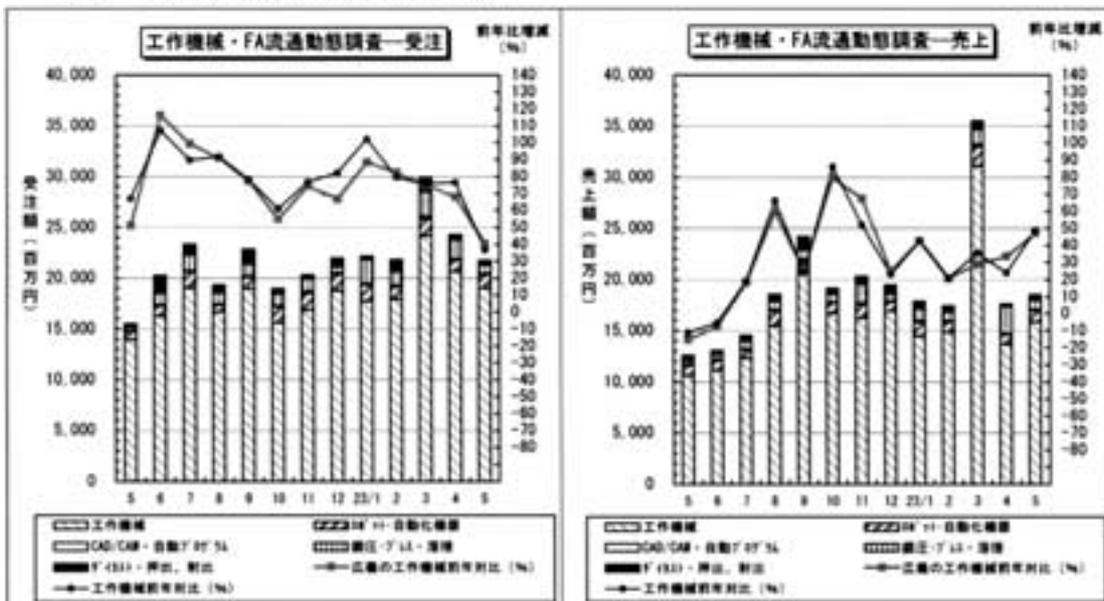
調査月次	受 注				売 上					
	23/5	前月比	前年比	23/1-5	前年比	23/5	前月比	前年比	23/1-5	前年比
39社合計										
広義の工作機械	19,020	-7.8%	36.6%	99,500	71.1%	15,823	15.8%	48.8%	89,861	34.1%
ロボット・自動化機器	1,327	17.3%	82.5%	6,862	20.8%	1,152	22.9%	18.6%	6,303	4.2%
CAD/CAM・自動プログラム	110	-6.9%	-1.8%	764	20.2%	96	-7.4%	-9.8%	676	-11.5%
鍛圧・プレス・溶接	807	-57.6%	124.8%	8,871	186.9%	893	-66.2%	145.9%	7,100	81.3%
ダイカスト・押出・射出	494	1.9%	25.4%	3,837	19.8%	581	92.4%	9.4%	3,163	17.2%
小計	21,758	-10.3%	40.3%	119,835	69.4%	18,544	5.1%	47.1%	107,102	33.2%
工作機械以外の扱い商品	8,831	-4.6%	10.3%	47,607	8.5%	8,749	19.1%	20.7%	48,379	15.1%
合計	30,589	-8.7%	30.0%	167,441	46.1%	27,294	9.2%	37.5%	155,481	27.0%
従業員数	1,267	0.6%	-3.4%							

統計2

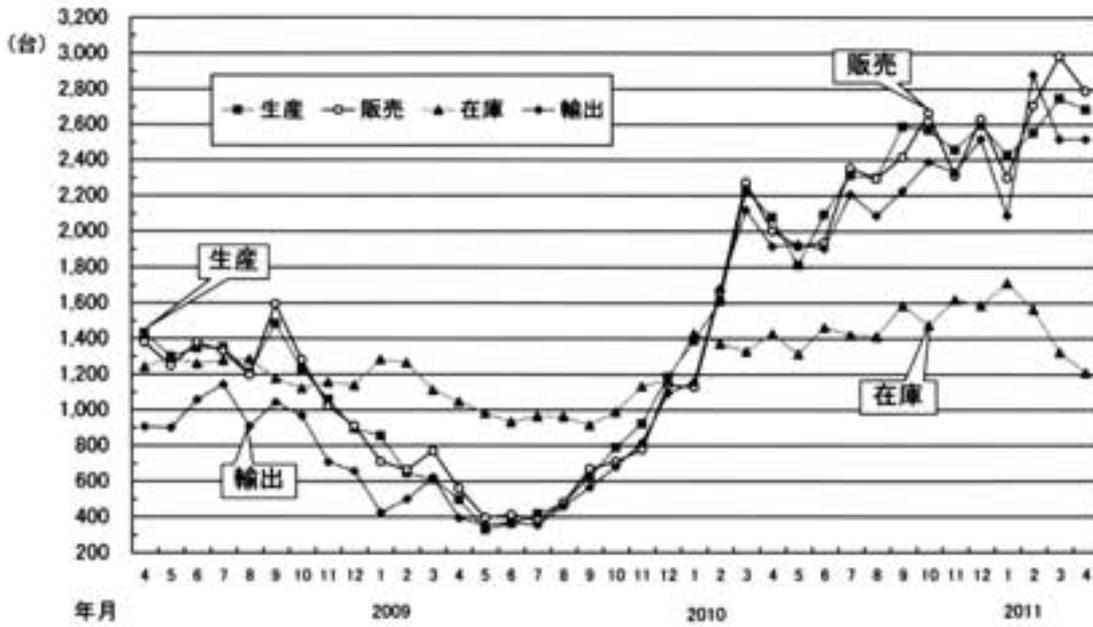
単位百万円

調査月次	受 注				売 上					
	23/5	前月比	前年比	23/1-5	前年比	23/5	前月比	前年比	23/1-5	前年比
29社合計										
直販	11,727	-4.9%	26.3%	65,131	35.2%	11,174	14.8%	36.8%	60,492	27.7%
(内リース)	788	-2.3%	-1.3%	4,111	24.4%	741	12.3%	21.5%	5,122	50.0%
卸	4,619	-13.5%	16.9%	26,537	48.6%	3,610	-15.6%	18.9%	25,345	24.0%
輸入	75	23.0%	1350.0%	777	82.4%	51	-62.5%	-8.9%	1,810	-40.8%
輸出	5,242	15.9%	59.1%	22,008	51.5%	3,889	-10.0%	51.5%	18,329	34.7%
(内間接輸出)	417	-67.2%	30.7%	2,712	62.6%	592	30.4%	-2.1%	2,868	53.1%
従業員数	941	1.1%	-4.0%							

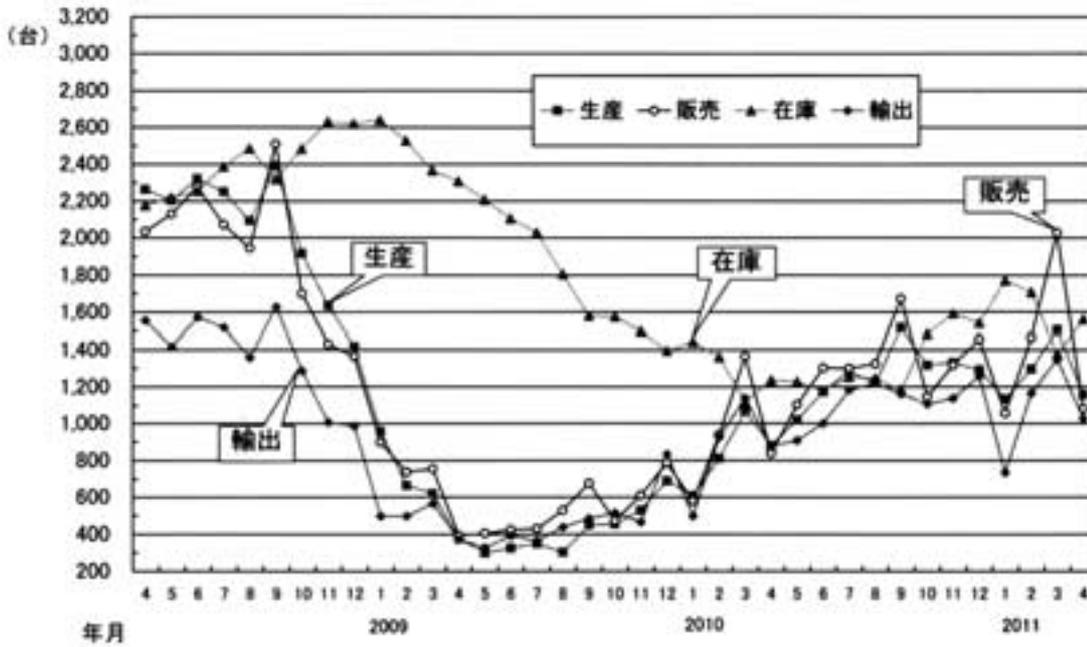
注：本調査は、20年4月より集計対象会員を見直し、前年分も集計し直した数値と比較した。
 会員69社中統計1に関しては39社、統計2に関しては29社の回答を得て集計したものである。
 折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。
 参考までに今月のデータ提供会社総数は42社である。



マシニングセンタ動向



N C 旋盤動向



工作機械業種別受注額(2011年4・5月)

5月分 6月15日発表 (単位:百万円、%)

需要業種	期間	(単位:百万円、%)											
		2010年 累計	前年比	2010年度 累計	前年比	2011年 1~5月 累計	前年同期比	4月分	前月比	前年同月比	5月分	前月比	前年同月比
機械 製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	6,061	149.5	7,540	160.1	3,089	146.3	15	1.6	3.2	479	3193.3	91.4
	2. 金属製機械	11,218	171.1	12,930	179.4	7,278	184.7	2,589	366.7	359.1	922	35.6	79.2
	3. 一般機械 (内金型)	125,580	182.2	150,544	195.7	76,699	188.0	14,783	100.3	153.0	15,992	108.2	157.3
	4. 自動車 (内自動車部品)	16,352	140.6	17,713	134.4	7,851	129.6	1,463	80.0	134.3	1,572	107.5	103.8
	5. 電気機械	89,373	263.9	101,805	215.1	45,179	133.7	8,070	80.3	135.9	8,323	103.1	72.4
	6. 精密機械	59,733	351.9	67,450	242.3	30,596	150.9	5,441	87.2	130.4	6,119	112.5	128.0
	5~6. 電気・精密計	19,231	154.0	21,645	161.0	9,948	162.0	3,140	288.9	191.6	1,259	40.1	92.2
	7. 航空機・造船・運送用機械	21,461	280.0	22,317	212.8	8,809	111.5	2,158	158.1	142.3	1,668	77.3	73.9
	3~7. 小計	40,692	201.9	43,962	183.7	18,757	133.6	5,298	216.1	167.9	2,927	55.2	80.8
	8. その他製造業	14,049	125.6	15,581	133.4	5,989	180.2	805	77.4	83.0	1,715	213.0	412.3
	9. 官公需・学校	269,694	201.1	311,892	195.1	146,624	159.5	28,956	102.4	146.8	28,957	100.0	112.7
	10. その他需要部門	10,485	201.4	11,078	151.3	5,374	127.0	1,119	87.4	142.4	926	82.8	130.8
11. 商社・代理店	3,292	70.1	3,529	73.0	1,242	155.1	139	22.6	180.5	151	108.6	1677.8	
1~11. 内需合計	4,956	142.8	4,768	133.9	1,877	104.2	344	1228.6	107.5	664	193.0	156.2	
12. 外需	1,821	117.3	1,854	121.6	796	125.0	170	85.4	175.3	198	116.5	136.6	
1~12. 受注累計 (内NC機)	307,527	192.6	353,591	187.1	166,280	157.7	33,332	104.0	150.1	32,297	96.9	112.7	
	671,095	266.1	760,013	212.2	379,439	150.7	73,611	90.4	125.6	75,764	102.9	145.8	
	978,622	237.6	1,113,604	203.5	545,719	152.8	106,943	94.2	132.3	108,061	101.0	134.0	
	934,229	238.0	1,070,873	204.9	531,834	155.7	103,207	92.8	132.7	105,193	101.9	136.7	
販売額 (内NC機)	851,272	142.6	963,307	173.1	451,863	149.1	68,590	50.4	121.3	83,553	121.8	141.9	
受注残高 (内NC機)	814,732	141.4	927,163	173.5	437,220	151.2	65,597	49.5	120.0	80,823	123.2	143.7	
(内NC機)	508,446	132.9	540,050	138.1	602,741	138.0	574,355	106.4	138.1	602,741	104.9	138.0	
(注) その他製造業……… 楽器、皮革製品等の製造業	478,868	135.2	512,114	141.1	573,804	141.1	545,581	106.5	141.1	573,804	105.2	141.1	

出所 (社)日本工作機械工業会

会員・業界消息

- 業界団体 (社)日本工作機械工業会 会長 横山元彦
日本工具工業会 会長 増田照彦
(一般社)日本鍛圧機械工業会 代表理事会長 高瀬孔平
(社)リース事業協会 会長 小幡尚孝
- 代表者変更 正会員
(株)豊通マシナリー 取締役社長 山瀬雅範
(株)大誠 取締役社長 白柳秀雄
関西機械(株) 取締役社長 森本一成
..... リース賛助会員
共友リース(株) 取締役社長 加藤芳之
三井住友ファイナンス&リース(株) 取締役社長 川村嘉則
- 住所変更 正会員
(株)豊通マシナリー
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-10-25名駅 IMAIビル6F
TEL052-569-9150 FAX 052-569-9141
..... メーカー賛助会員
(株)C & Cシステムズ
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F
TEL03-6864-0777 FAX 03-6864-0778
..... リース賛助会員
興銀リース(株)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6
TEL03-5253-6560 FAX 03-5253-6567
昭和リース(株)
〒112-8574 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル(8月29日より)
TEL03-4284-1111 FAX 03-4284-1100

行事予定

- | | | |
|-----------------|----------------------|--------------------|
| 東部地区委員会 | 7月29日(金) | 機械工具会館 |
| 調査広報委員会 | 8月4日(木) | 機械工具会館 |
| 中部地区製品研修会 | 9月6日(火) | 名古屋市工業研究所 |
| 政策委員会・定例理事会 | 9月14日(水) | 大阪産業創造館 |
| SE教育「SE講座」(名古屋) | 10月6~8日(木~土) | マザックアートプラザ オフィス棟4F |
| SE教育「SE講座」(大阪) | 10月13~15日(木~土) | 新梅田研修センター |
| SE教育「SE講座」(東京) | 10月20~22日(木~土) | 機械工具会館 |
| 政策委員会・定例理事会 | 11月10日(木) | 安保ホール |

行事予定

- SE教育「更新研修」(名古屋) 11月11~12日(金、土) マザックアートプラザ オフィス棟4F
SE教育「更新研修」(東京) 11月25~26日(金、土) 機械工具会館展示会
展示会
プレス・板金・フォーミング展 MF-Tokyo 2011
..... 8月3日(水)~6日(土) 東京ビックサイト
EMO HANNOVER 欧州国際工作機械見本市
..... 9月19日(月)~24日(土) Hannover国際展示場
MECT2011メカトロテックジャパン
..... 9月29日(木)~10月2日(日) ポートメッセなごや
測定計測展 Measuring Technology Expo 2011
..... 10月12日(水)~14日(金) 東京ビックサイト
次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO 2011
..... 10月19日(水)~22日(土) ポートメッセなごや
2011国際ロボット展 11月9日(水)~12日(土) 東京ビックサイト

編集後記

2011年Vol.2号をお届けします。6月8日開催の第42回通常総会にて新会長、新副会長が選出され長久保前会長から上田新会長へバトンタッチされ新体制がスタートしました。これからも会員の皆様と共に考え、共に行動してまいりたいと思いますので絶大なるご協力ご参加をお願いいたします。

我が国は混迷の真ただ中ではありますが、アメリカの政治・外交に大きな影響力を与えたラインホルド・ニーバーという神学者の有名な「ニーバーの祈り」を我が国のリーダーに贈りたいと思います。

神よ、

変えることのできるものについて、

それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。

変えることのできないものについては、

それを受けいれるだけの冷静さを与えたまえ。

そして、

変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ

(訳：ニーバーの弟子、大木英夫)

日工会発表の5月受注確報によりますと、内需が320億円、外需が758億円の総額1,081億円となりこれで1月より5ヵ月連続の1,000億円超となり2008年以来久しぶりに受注総額が1兆円を超えることがほぼ確実になりました。然しながら当時とは内需、外需の比率が大きく違ってきており現在のところ、内需が3割で推移してきており内需の更なる底上げが必要なところです。

「日工販ニュース」 Vol. 2 - 2011

平成23年7月15日発行

発行 日本工作機械販売協会
〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 機械工具会館3階
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879
発行責任者 専務理事 宇佐美 浩
編集 日工販調査広報委員会
委員長 田尻 哲男

日本工作機械販売協会 会員会社一覧 (五十音順)

平成23年7月1日現在

正会員(全69社)

[東部地区(33社)]

(株) 旭 商 工 社
 (株) 伊藤忠マシテクノス
 (株) 今井機械工業
 (株) 大石機械
 (株) カナデン
 (株) カネコ・コーポレーション
 (株) 兼松 K G K
 (株) 京 二
 (株) 共和工機
 (株) 群馬工機
 (株) 国 興
 (株) 三 機 商 会
 (株) 三 洋 マ シ ン
 (株) サンワ産業
 (株) シモト技研
 (株) 住友商事マシネックス
 (株) セイロジャパン
 (株) 誠和エンジニアリング
 (株) 双日マシナリー
 (株) 帝通エンジニアリング
 (株) テ ヅ カ
 (株) ト ミ タ
 (株) 豊通マシナリー
 (株) N a I T O
 (株) ナチ常盤
 (株) 日鋼商事
 (株) 藤田総合機器
 (株) 丸紅マシンツールズ
 (株) 三井物産マシンテック
 (株) 三菱商事テクノス
 (株) ヤマモリ
 (株) ユアサ商事
 (株) 米沢工機

[中部地区(20社)]

(株) 石原商事
 (株) 岡井
 (株) 岡谷機販
 (株) 力ト一機械
 (株) 釜屋
 (株) 岐阜機械商事
 (株) 甲信商事
 (株) 三栄商事
 (株) 三機商事
 (株) サンコー商事
 (株) 三立興産
 (株) 下野機械
 (株) 大成
 (株) 大成

(株) 東 陽
 (株) 日本精機商會
 (株) 浜松貿易
 (株) 山下機械
 (株) ワシノ商事

[西部地区(16社)]

(株) 赤澤機械
 (株) 伊吹産業
 (株) 植田機械
 (株) おじま
 (株) 関西機械
 (株) 京華産業
 (株) 五誠機械産業
 (株) 桜井機械
 (株) ジーネット
 (株) 大幸産業
 (株) 立花エレテック
 (株) 西川産業
 (株) 日本産商
 (株) マルカキカイ
 (株) 宮脇機械プラント
 (株) 山 善

賛助会員(全74社)

[製造業(58社)]

(株) アマダマシンツール
 (株) 育良精機
 (株) エグロ
 (株) エヌティーツール
 (株) M S T コーポレーション
 (株) エンシュウ
 (株) オーエスジー
 (株) オークマ
 (株) 大阪機工
 (株) 岡本工作機械製作所
 (株) カワイエンジニアリング
 (株) 神崎高級工機製作所
 (株) 北川鉄工所
 (株) キタムラ機械
 (株) 北村製作所
 (株) キヤムタス
 (株) 黒田精工
 (株) コマツ N T C
 (株) C & G システムズ
 (株) ジェイテクト
 (株) シギヤ精機製作所
 (株) シチズンマシナリーミヤノ
 (株) 新日本工機
 (株) 住友電工ハードメタル

(株) ソディック
 (株) 大昭和精機
 (株) 太陽工機
 (株) 高松機械工業
 (株) 滝澤鉄工所
 (株) ツガミ
 (株) 津田駒工業
 (株) 東京精密
 (株) 東芝機械
 (株) 東洋精機工業
 (株) ナガセインテグレックス
 (株) 中村留精密工業
 (株) 日研工作所
 (株) 日進製作所
 (株) ハイデンハイン
 (株) 浜井産業
 (株) 日立ツール
 (株) ファナック
 (株) 富士機械製造
 (株) ブラザー工業
 (株) 豊和工業
 (株) 牧野フライス精機
 (株) 牧野フライス製作所
 (株) 松浦機械製作所
 (株) 三井精機工業
 (株) ミットヨ
 (株) 三菱重工業
 (株) 三菱電機
 (株) 三菱マテリアルツールズ
 (株) ムルダシステムエンジニアリング
 (株) 森精機製作所
 (株) 安田工業
 (株) ヤマザキマザック
 (株) 吉川鐵工

[リース業(16社)]

(株) N T T ファイナンス
 (株) 共友リース
 (株) 近畿総合リース
 (株) 興銀リース
 (株) 首都圏リース
 (株) 昭和リース
 (株) J A 三井リース
 (株) 住信・パソニックファイナンスサービス
 (株) 東銀リース
 (株) 東芝ファイナンス
 (株) 日本機械リース販売
 (株) 日本 G E
 (株) 日立キャピタル
 (株) 三井住友ファイナンス&リース
 (株) 三菱電機クレジット
 (株) 三菱 U F J リース